

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【397】
2. 日時：令和5年2月15日 14時00分～17時30分
3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

忠内安全規制調整官、江寄企画調査官、千明主任安全審査官、  
中村主任安全審査官、服部(正)主任安全審査官、三浦主任安全審査官、  
谷口技術参与

技術基盤グループ

大橋技術研究調査官、小林技術研究調査官

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 部長（電源建築） 他6名

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他24名※

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 安全総括室 担当※

## 5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本ヒアリングについては、事業者から一部対面での開催の希望があったため、「まん延防止等重点措置の解除を踏まえた原子力規制委員会の対応」（令和4年3月23日 第73回原子力規制委員会 配布資料2）を踏まえ、一部対面で実施した。

## 6. 配付資料

なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	どうぞ。
0:00:02	はい。規制庁の千明です。それでは、島根原子力発電所 2 号機のセット購入のヒアリングを始めます。
0:00:09	本日の説明項目は、
0:00:12	審査会合案件の主な説明事項、土建関係となります。
0:00:17	それでは資料の確認と説明の進め方について、お願いいたします。
0:00:23	はい中国電力伊佐です。
0:00:25	今回審査会合案件のご説明ということでまずですねこの案件に関しまして幾つかちょっとコメントが残ってるのがございますのでそちらのコメント回答。
0:00:35	等ご説明させていただけたらと思っております。
0:00:38	それらが終わりましたら
0:00:41	パワーポイントの方でご説明させていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。
0:00:47	はい、その進め方をお願いします。
0:00:51	はい。では、
0:00:54	別紙大判のほう確認をさせていただきます。
0:00:59	藤。
0:01:00	まず、一番としましてN-Sに他 067 回 14%ポイントの所となっております。すいません。資料提出
0:01:09	大体 2 月 9 日、御所提出しております幾つかちょっと以前出させてもらって、
0:01:14	出してもらったものがございます。
0:01:16	2 番、N-Sにほかに 31 回の 21、
0:01:20	回答整理表になります。3 番、
0:01:23	N-S2.2020021-01 回 01 です。
0:01:29	4 番でこちら浸水防護の耐震性に関する補足説明書にありますけども、ちょっと 2 種類、4-1-4-2 を上げさせていただいております、
0:01:38	4-1 が 2 月 9 日提出の
0:01:40	N-Sに法 02708 の甲斐 25 となっております。
0:01:45	4-2 としまして前回提出、2 月 2 日に提出いたしましたもので甲斐の 24、
0:01:53	となっております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:01:56	ごめんなさい。4、浸水防護の耐震性に関する説明の補足説明資料、こちら多分、2種類、
0:02:04	やりまして、ウエノ1はN-S2歩02708回の25。
0:02:12	はい。衛藤すいません、先日、防波扉の対策工の方の、で使っていたものを改めて、今回、
0:02:20	持ってきていただけたらという、ちょっと、
0:02:23	はい。はい。前回の少し、はい。すいません。
0:02:32	使い方は、
0:02:33	そちらをちょっと4-2。
0:02:37	前回の24というものをちょっと読み取り裁判を少し、
0:02:40	させていただいた次第でございます。
0:02:44	はい。すいません。
0:02:45	また戻りまして5番、
0:02:47	N-S2歩018-01回の08。
0:02:51	土石流の関係ありましてこちらは2022年11月10日、提示させていただいてこちらは今回またご提出させていただいていると聞いております。
0:03:01	6番がN-Sに他に発注の会01、
0:03:06	7番、N-S2.2002-06、
0:03:10	8番、N-S2歩02502回01。
0:03:16	9番、N-S2。
0:03:19	はい。
0:03:21	すいません。
0:03:22	9番です。N-Sに他に6、7階01。
0:03:29	10番。
0:03:31	N-S2歩025、11の改01。
0:03:36	11番。
0:03:38	が、N-Sに他056回の11、
0:03:44	12番が、N2歩02301の会の11、
0:03:50	以上
0:03:51	4-1号に含めまして江藤13、
0:03:55	この資料となっております。
0:03:56	おそろいでしょうか。
0:04:00	はい。ミツイイトウ亀裂、はい。資料の確認の方できました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:04	それでは、はい。説明の方をお願いします。はい。いただいてですね、これ、まずコメント回答とあと、適正化のほうをご説明させていただきたいと思っておりますまず防波壁着
0:04:14	滑川注力擁壁の方をご説明させていただきまして、
0:04:17	そのあと
0:04:19	今回の会合の案件の
0:04:21	対策だったり、戦中それぞれちょっと一つずつご説明の方させていただけたらと思っております。
0:04:28	今回ちょっと会合のパワーポイント入ってませんけども地盤の支持性能というところで防波壁逆T擁壁の改良地盤の品質確認試験の
0:04:37	現状というところも
0:04:39	ご説明させていただこうと思っております。
0:04:47	中国電力のソウダです。それでは防波壁のコメント回答についてご説明させていただきます。
0:04:53	資料番号 2 の 12 ページ。
0:04:58	お願いいたします。
0:05:06	ナンバー88、計装について土木の設計体系を用いているのに、許容限界として建築の値を用いている考え方を整理し説明すること。
0:05:17	について、こちらですね防波壁の見返し重力擁壁の強度計算のご説明の際にいただいたコメントでございます。
0:05:26	考え方として耐震計算書にも反映しておりますので、今回耐震計算書の補足説明資料でご説明させていただきます。
0:05:35	内容としましては、放水時計損の圧縮、面外せん断の許容限界について、他の土木構造物と合わせ、コンクリート標準示方書の短期許容応力度を許容限界として整理しておりますので、
0:05:49	結果とあわせてご説明いたします。
0:05:52	主要番号 4-1 の 346 ページをお願いいたします。
0:06:11	はい。
0:06:12	ケーソンの許容限界としまして、コンクリート標準示方書に基づく短期許容応力度を許容限界とし、許容限界を超える場合については、応力度の平均化を実施して評価を行っております。
0:06:25	応力だの、応力度の平均化を実施した場合においても、許容限界を超える場合は、その範囲が局所的であることの確認を行いまして、
0:06:35	部材全体として、機能維持されている確認を行います。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:39	また、局所的に許容限界を超える場合について、その範囲がRC基準に基づく、短期許容応力度以下であることを参考として確認しております。
0:06:50	結果について、523 ページをお願いいたします。
0:07:06	はい。コンクリート標準示方書に基づく、面外せん断の
0:07:11	調査結果をお示しております。
0:07:14	こちら表を見ますと、底盤のみ、照査値が 1 を上回っておりますが、
0:07:20	括弧内に参考として、RC基準に基づき許容限界を設定した場合には、照査値が 1.0 を下回ることを確認しております。
0:07:30	525 ページをお願いいたします。
0:07:37	こちらの図に、コンクリート標準示方書に基づく、
0:07:41	調査において照査値が 1.0 を上回る、底盤の面外せん断の応力度コンターをお示しております。
0:07:50	ここで江藤図の訂正がございます。図の中にコンターの凡例の
0:07:57	下の絵と左下、
0:07:59	あたりに、不要な数字文字が入っております。こちら次回修正させていただきます。申し訳ございません。
0:08:07	こちら、コンターの
0:08:10	下の方の図、
0:08:12	応力度の平均が実施後において、
0:08:15	コンクリート標準示方書の限界を超える、濃い青色の範囲は、
0:08:23	手前側の赤で囲った枠内にありますが、こちらについて局所的であり、海陸方向に連続していないことから、底盤の部材全体として機能が保持されていることを確認しております。
0:08:37	これに関連しまして 829 ページをお願いいたします。
0:08:54	こちらは参考資料 7 として、放水炉ケーソンの縦断面についても、
0:09:00	縦断面について検討した資料になっております。
0:09:05	こちらについても同様に許容値の見直しを行っております。
0:09:09	結果については随時とさせていただきますが、こちらについては、応力度平均化を実施することで、コンクリート標準示方書に基づく、
0:09:19	照査値が 1.0 を下回ることを確認しておりますので、次回ご説明させていただきます。
0:09:26	コメントNo.88 に対するご説明は以上となります。
0:09:34	はい、定常的だです。はい。今の回答について、
0:09:43	室さんと江崎さん。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:47	あ、規制庁の三浦です。
0:09:50	趣旨を理解していただいて、資料を追加していただいて、私はこれで結構だと思います。
0:09:58	はい、わかりました。それではNo.88 については了といたします。
0:10:04	それでは、次の説明をお願いします。
0:10:07	はい。中国電力の蔵です。
0:10:09	では続きましてすいません。さ、資料番号 2 番の 12 ページ。
0:10:18	ですね。
0:10:20	お願いいたします。
0:10:22	ナンバーが、89D耐震計算において、線形解析における鉄筋コンクリート製要素としてモデル化する範囲及び具体的なモデル化方法について説明すること。
0:10:35	というコメントについてご説明いたします。
0:10:38	資料番号 4-1 の 354 ページをお願いいたします。
0:10:56	はい。
0:10:57	こちらに図を示しております、材料非線形解析において、鉄筋を含む要素は、鉄筋を中心として、かぶり厚さの概ね 2 倍としておりまして、
0:11:08	今回材料非線形解析を行う 33 断面、この方水路ケーソンについては、
0:11:15	こちらの図に示している通り、隔壁のみに鉄筋を考慮しております、
0:11:20	この泊大図に示しております、隔壁の両端 175 ミリ幅の要素を鉄筋コンクリート製要素として設定しております。
0:11:28	コメント 89 に対するご説明は以上となります。
0:11:32	はい。規制庁千田です。それでは、今のコメント、回答について、
0:11:42	規制庁のタニグチです。基本的にはわかりました。それで、ちょっと
0:11:48	教えていただきたいのは、
0:11:50	ここで言う方水路ケーソン等書いてある部分が、
0:11:56	真ん中の隔壁のところの話だと思うんですけども、
0:12:02	基本的に今、隔壁のところの、
0:12:05	うんから、
0:12:07	上下方向はどこまでモデル化してますかって言うか、
0:12:13	コンクリート要素を使って、
0:12:16	厚さ方向はこういう形してるってわかりましたけど高さ方向はどこまで、この予想を取り込んでいるイメージになってますか、それを教えてください。
0:12:28	中国電力のソウダです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:30	すいませんが確認をさしてください。今おっしゃられたのは、
0:12:36	各平均に設定している鉄筋コンクリート造のこの 500、354 ページの拡大図でいうと、Z方向の範囲がどこまでか。はい。ということです。
0:12:48	基本的に衛藤小の隔壁のところを、
0:12:53	の上の部分。
0:12:55	ていうのが、これでいと言葉的に言うと付着腔が有効な領域を鉄筋コンクリート製としてモデル化している。
0:13:03	というふうに書いてあるんだけど、
0:13:05	鉄筋の付着が有効な領域っていうのは高さ方がどこまでを考慮に入れてやってるのか教えて欲しいんですけど。
0:13:31	すいません中国電力の伊佐です。
0:13:33	江藤君階数解析モデルとしてはですねその細長い隔壁自体はこちら鉄筋をすべて鉄筋をモデル化しております。で、
0:13:48	アンチですね、で、
0:13:51	そうですね。
0:13:53	はい。磯瑛斗さん。
0:14:01	そうですか。
0:14:14	隔壁の上の方ハンチをつけて作っている状況になってるわけですね。実態として、どこまで動きになってるかっていう話だと思いますけど。はい。中国電力のソウダです。
0:14:25	すいません。核兵器については核兵器のハンチの部分については、鉄筋要素をモデル化しておりませんでマスコンクリートとしてモデル化しております。
0:14:37	その辺を、このせっかく断面書いてるんだったら発注のところは入ってないっていう絵を書けば済む話かなと思うので、その辺をちゃんとわかりやすくした。
0:14:47	高さの方については、記載をしておいていただきたいなと思ってるんですけど。そうですね。
0:15:06	そうです。
0:15:10	はい。中国電力のソウダです。はい、承知いたしました。こちらの図を拡充するようなイメージで記載をさせていただくとともにところの考え方も追記させていただこうと思います。以上です。はい。よろしくお願いいたします。
0:15:25	この 3 次元の線形構造解析ってのはここしか変えてないわけですから、一番ここが、これが違ってるんだっていうことをきっちり説明しておいていただかないといけないので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:36	愛知県の今までの扇形線形の解析と先見のところが、どこがどう違うの かっていうのをわかるようにしといてください。よろしくお願いします。
0:16:50	あの言わんとしてることは大体こちらわかりましたけど今みたいなところ はちょっと足りないの、それを追加してください。それが今回の、
0:17:01	はい。中国電力の宗です。承知いたしました。
0:17:08	はい。今の話で 353 ページのところでのこの 3 次元の
0:17:15	材料非線形解析の
0:17:17	モデルの分割、
0:17:19	要素分割とか境界条件については 3 次元線形構造解析と同様とするつ て書いてあるんですけど、同様ではないんじゃないかな。
0:17:28	ちょっとそこを、今の話。
0:17:31	やっぱり、これはこれでやっぱり洋三、どういう要素になってるのかとか かです、あと評価条件どうなってるのかとかかっていうのはそれは、
0:17:40	ちゃんと説明があった方がいいと思うんですけど、いかがですか。
0:17:45	はい。中国電力のソウダです。
0:17:49	3 次元構造解析モデルの要素分割については 1009 万 1000 件も同じ 分割になっておりまして、こちらで境界条件と書いているのは、
0:18:01	各要素の接点教諭。
0:18:04	の状態であったり、地盤ばねの状態を、
0:18:08	が同じ条件だということを書きただったので、こちらがわかるように記載 をさしてもらおうと思います。以上です。
0:18:16	はい。
0:18:17	3 次元の非線形構造解析っていうのはどういう解析モデルを使ってるの かっていうのがですね、やっぱりわからないので、はい。その辺がこれ に、
0:18:28	しといてもらった方がいいかなと思います。
0:18:33	はい。中国電力吉住でございます。
0:18:37	はい。今皆様からいただきました非線形構造解析今回、この構造物で 初めて出てくる場所ですので、
0:18:45	ちょっと階線形解析とかぶるところもあるのでそこは明確にしながら、違 うところはどこなのかっていうところをちょっと境界条件ですとかモデル 化の考え方、
0:18:56	あと、破壊領域どういうふうを設定して、要は材料非線形として、説明し ないといけない条件等をここに記載をさしていただきまして、モデル化の 考え方のところを

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:19:08	充足させていただけたらと思います。以上です。
0:19:12	はい。
0:19:13	わかりました。
0:19:14	では、コメントの 89 番なんですけど、
0:19:18	ちょっと今話した内容等、重複するのでちょっとこのコメントを継続して、今の花Gを、の内容をですねちょっと拡充していただく方向で整理したいと思います。
0:19:31	それでよろしいですか。
0:19:35	はい。中国電力の佐田です。はい。
0:19:37	承知いたしましたよろしく申し上げます。
0:19:41	はい。
0:19:43	では次の説明をお願いします。
0:19:46	はい。衛藤。
0:19:48	中国電力のソウダです。防波壁波返し重力擁壁のコメント回答については以上となりますので、
0:19:55	適正化について、主要なものを 3 点ほどご説明させて、通しでご説明させていただこうと思います。
0:20:04	まず 1 点目です。資料番号 2 の通しの 13 ページ。
0:20:12	です。
0:20:14	こちらのナンバー834。
0:20:17	の、2 号放水ロケーションを評価対象断面に選定しない理由について、
0:20:23	資料に反映しておりますのでご説明いたします。
0:20:27	資料番号 4-1。
0:20:29	の
0:20:31	通しページ 97 ページをお願いいたします。
0:20:50	はい。97 ページの中程のH8ヶ所に、2 号放水炉ケーソンは、周囲がM MRで埋め戻されており、
0:20:59	開口部の面積が 3 号機放水炉ケーソンに比べ狭いことから、評価対象断面選定しないことを追記しております。
0:21:08	続いて 2 点目に移ります。
0:21:11	は、
0:21:13	紙資料戻りまして資料番号 2 の通しページ 16 ページをお願いいたします。
0:21:29	こちらのナンバー877。
0:21:32	についてでございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:35	反映した箇所として資料番号 4-1 の 705 ページをお願いいたします。
0:21:54	中段あたりにですね、に重力擁壁と、すいません、こちら重力擁壁の既設部分と新設部分の一体性確認。
0:22:04	の検討、資料でございますが、
0:22:07	材料非線形解析の入力条件として、慣性力を全設定に入力している旨を追記しております。
0:22:16	へえ。
0:22:17	続いて最後に 3、
0:22:20	2 点目です。
0:22:23	資料番号 2 の通しページ 17 ページをお願いいたします。
0:22:31	こちらのナンバー 889 ページについて、
0:22:36	ケーソンと重力擁壁の一体性について追記しておりますので、ご説明させていただきます。
0:22:43	資料番号 4-1 の通し番号、
0:22:46	通しページ 803 ページをお願いいたします。
0:23:01	はい。こちら地震児童失礼しました。重力擁壁とケーソン一体性検討でございますが、地震時と津波時の水平荷重を比較しまして、
0:23:12	津波時の水平荷重が地震時の水平荷重に包絡されていることから、地震時の検討を実施する旨を記載しております。
0:23:21	適正化に関するご説明は以上です。
0:23:25	と、またすいません、ちょっともう一つ、前回ヒアリング時ヒアリング時にですね、岩盤に直接擁壁を設置している 5 号断面について、先ほど、
0:23:36	少し話もありましたが、信頼性向上の観点から岩盤に設置する鉄筋の引き抜きに関する確認について、充足することとコメントをいただいております。こちら、現在、現地で引抜き試験を準備している状況でございます。
0:23:51	こちらについては 3 月のヒアリングでご説明したいと考えております。
0:23:55	防波壁に関する説明は以上です。
0:23:59	はい。規制庁チギラです。それでは今の適正化。
0:24:04	の内容について確認するとある方はいらっしゃいますか。よろしいですか。
0:24:12	はい。
0:24:14	よろしければ、では次の説明をお願いします。
0:24:19	はい。中国電力の伊佐です。では江藤につきましてひよ防波壁設置する漂流た酒匂、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:25	につきまして、少し適正化ございますので
0:24:30	ご説明の方させていただきますとまず、江藤すいません 4-1 の資料で 13 ページお願いいたします。
0:24:46	13 ページになります。
0:24:48	江藤。先日のヒアリングでですねツチヤさんからちょっとご指摘いただきまして、あと、ここに載っている局所的な所達会場の時のせん断力と後段の、
0:25:00	対策工の方の値が違ってるとんじゃないかというところをちょっと、
0:25:04	ご指摘いただきまして、
0:25:08	いただいております。ちょっとすいませんもう少し、当時、そのとき少し記憶がおぼろげで申し訳なかったんですけどちょっとここではですね
0:25:15	全体的なちょっと使える施設センター長と使えると、局所的に衝突荷重一による比較をしております
0:25:25	その時の調達会場での新規戦力を書いております。後段の方では津波改良等含めまして、そこでちょっとお仕置きせん断計算しておりましたがちょっと値が違っていたというところで、
0:25:37	衝突荷重をきちんと黄色ですけど、書かせいただきまして、この後になってますのを記載させていただいております。
0:25:45	すいません、960 ページお願いいたします。
0:26:05	960 ページになります。
0:26:09	ちょっと今回新しく参考資料 4 というものを少しつけさせていただきました。
0:26:14	衛藤漂流対策工安保配筋付表対策工の鉄筋コンクリート番につきましては、厚さ 500 ミリを、と、
0:26:23	表として考えております。
0:26:25	ちょっとですね今回防波壁、普通の方は田浦 3 号機東側と言われるところにつきまして、扉との少し一部干渉がございましてそこにつきましてちょっと
0:26:38	大体、図の方にありますけども、400、
0:26:42	2 ぐらいの対策法になるというところに、
0:26:46	考えております。ちょっと、これまでご説明してきたものが 50、500 ミリというところで、
0:26:52	そこは大丈夫かというところの最低厚さというところを少し検討して参りました。
0:26:57	衛藤。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:59	961 ページ見ていただきましたら小貫仙田の
0:27:03	計算の方、同じように載せておりまして、次の 962 ページをお願いいたします。
0:27:12	江藤図の方です推し抜きせん断の許容値が 1.35 というものに対してまして
0:27:18	今考えてる 50 センチというところが、
0:27:21	基本となる 50 センチはえ一とですね。
0:27:24	大体その半分以下となっております。
0:27:30	その 1.35 ましたぎりぎり下回らない厚さというところで、
0:27:35	途中にあたる場合では 21 センチ、端っこに当たった場合は 29 センチというところになってます。今回、
0:27:42	先ほど扉の方では大体、
0:27:45	本城先生の対策をするというところで、
0:27:50	問題はないものというふうに確認をいたしました。
0:27:54	ちょっとこういった資料の方を少し今回新たにつけさせていただいております。
0:27:59	はい。漂流対策の説明は以上となります。
0:28:04	はい。規制庁、伊賀です。それでは今説明いただいた、漂流物対策かな、禁忌説明文について確認する点がある方、お願いします。
0:28:19	すいません。
0:28:20	衛藤今、最後にあった資料、参考資料 4 のところのコンクリートの厚さなんですけど、
0:28:28	これは今 3 号機東側の防波扉のところはいろいろな制約があってよ、400 ミリになるっていうことだったんですけど、
0:28:40	ここ 250 センチよりも薄くなるような箇所っていうのはあるのかなのか。
0:28:46	はい。中国電力の磯です。はい。衛藤。
0:28:50	以上ここだけという状況でございます。
0:28:54	はい、わかりました。
0:28:59	確認する点ある方、いらっしゃいますか。
0:29:07	規制庁の江寄です。ごめんなさい、この 960 ページの、
0:29:12	図 1-1 ですけど、この
0:29:15	ピンクのこの、
0:29:17	コンクリート版って、
0:29:19	どういうふうに取りついてんの。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:21	これです。
0:29:23	すいませんこれそっか。
0:29:26	この横のところで何かいろいろ点線とかで書いてはあるけど、
0:29:33	道庁駅が、
0:29:36	あるんでしたっけ。
0:29:38	伊佐です。大変申しわけない衛藤ウエノ図で、少し見ていただいてすいませんこちょっと防波壁というのを記載を説明しておりましたと。
0:29:48	ガイドローラー支持ブラケットって書かれてるものがあると思うんですけどその上の方にちょっと広がっておりましてそこがちょっとですかね四角い穴が遅いものは、
0:30:01	折れ曲がってある。
0:30:07	その後がいろいろな支持ブロックがくっついてる。
0:30:10	壁といいますか、これを展望が見えてこれは防波壁の展望になってます。
0:30:17	これはちょっとこう、きっと。
0:30:19	医者の方にも言ってるんですね。
0:30:22	すいません平面図的に言うと、防波壁ってどこにある。
0:30:27	はい。中国電力ヨシツグでございます。上の平面図でいきますと、
0:30:33	まず
0:30:35	足書きしているやつの上のところのガイドローラー支持ブラケットって書いてある文字のところ横方向に水平な黒い線が、
0:30:44	見えると思うんですけどこの厚さまで誤廃棄がございます。
0:30:48	で、
0:30:48	通り曲がって下の方に、また瀬川平米という、そうでございます。
0:30:58	そんな防波壁戻しわかるし、防波壁が完璧にないなというような感じに見えちゃうんで、
0:31:07	はい。中国電力ヨシツグでございます。ちょっと
0:31:10	広域コアの逆T擁壁のところなんですけれどもちょっとその表現がこの図面上に記載されておきませんので、どこが防波壁でそれにどのようにくっついて、ちょっとどのように干渉してるのかっていうのが、わかるようにもう少し
0:31:24	イトウ、
0:31:26	はい。ちょっと色をつけるとか。はい。して、防波壁にくっついてるんだっていう、安価でくっついてるんだというのはわかるようにちょっとさしてもらいます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:48	長編ない
0:31:50	中、この後係船中とあと建物関連等のコメント回答ございますので、ご説明させていただきたいと思います。はい。じゃあお願いします。
0:32:01	はい。中国電力のセイキです。はい。それでは資料 2 番、浸水防護施設の回答整理表の 12 ページをお願いいたします。
0:32:12	こちらの 82 番になります。
0:32:15	こちら資料の修正がございまして説明させていただきます。
0:32:20	82 番、漂流防止装置基礎、荷揚護岸の許容限界の変形量に関するコメントですが、こちらの方、回答日が後日回答となっております回答欄、空欄となっておりますが、
0:32:34	本日資料の中で回答の方、記載させていただいております。記載の方が漏れておりまして、大変申し訳ございませんでした。
0:32:42	それでは回答内容とあわせて担当者の方から説明させていただきます。
0:32:51	中部電力の木村です。漂流防止措置についてのコメント回答及び適正化についてご説明いたします。
0:32:59	とコメントについての回答ですが、
0:33:01	許容限界の変形量について発電所における使用条件を、過去に被災した護岸の共用の観点から許容される変形量を整理し、
0:33:11	保守的な設定を行った旨を追記しましたとしております。
0:33:17	この内容についてご説明いたします。
0:33:19	資料 4-1、通しの 1076 ページをお願いいたします。
0:33:30	こちらは漂流防止装置基礎のうち、護岸の耐震計算の補足説明資料になります。3 ポツ 7 において、許容限界を港湾基準の耐震強化岸壁に求められる影響残留変形量 0.3 メートルから 1 メートルのうち、1 メートル。
0:33:46	というように記載しておりましたが、こちらは 0.3 メートルというふうに適正化をしております。
0:33:51	この辺りの妥当性について参考資料 1 を用いてご説明させていただきます。
0:33:56	通しの 1133 ページお願いいたします。
0:34:06	こちらは参考資料 1 としまして、漂流防止措置基礎(二)あげ法案の許容限界の設定ということで、基準地震動 $S_s$ による地震応答解析に基づく施設の変形性評価を行う際の許容限界の設定を説明する資料として、今回ご用意いたしました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:22	2 ポツ、許容限界の設定として、今回の管理にあたっては、発電所における使用条件から要求される許容限界及び共用の観点から許容される岸壁の変形量の目安をそれぞれ比較し、
0:34:36	保守的な許容限界を用いることとしております。
0:34:39	2 ポツ 1 で発電所における使用条件から要求される許容限界についてお示しをしております。
0:34:49	燃料という宗線が本護岸に係留される支援といいますと、海域活断層から想定される地震による津波が来襲する場合がございますが、この場合緊急退避が困難ですので、こちら、係留することとしております。
0:35:03	こちらの津波が襲来した場合、取水口、
0:35:06	における最低水位EL-4.3メートルに対して、船の喫水高さ3メートルから5メートルであることから、仮に燃料という操船が取水口上部に漂流した場合に取水口に到達接触する可能性があります。
0:35:20	従って、発電所における使用条件から要求される許容限界としては、係留する船舶が係留時に許容される最大移動可能距離。
0:35:28	こちらはN5&水耕と平均離隔距離として約75メートルが許容限界となっております。
0:35:38	通しの1135ページをお願いいたします。
0:35:46	こちら、2 ポツ 2 としまして、共用の観点から、許容される岸壁の変形量の目安として示しております。こちら、港湾の基準において、港湾施設の地震最後の共用状況がまとめられたものを整理しております。
0:36:01	整備の観点としましては、供用可能または供用制限の有無、
0:36:05	重力式または矢板式による構造形式の際、前面水深がマイナス7.5メートルを基準とした規模の際に注目し、岸壁の変形の目安を表2ポツ2-1の通りとしております。
0:36:20	こちら、本5番ですけれども、セルブロック式による重力式係船がんであり、護岸前面の水深は約10メートルであることから、表2ポツ2-1-16式沿岸
0:36:31	-7.5メートル以上の岸壁に区分されます。
0:36:35	下に表2ポツ2-1示しておりますがこちら赤枠のところとなっております。
0:36:41	この区分においては飛散変形量が30センチの間では、使用制限が行われる、行われる前供用可能とされております。
0:36:55	通しの1140ページをお願いいたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:06	3 ポツまとめとして、今回許容限界を設定するにあたり、発電所における使用条件及び影響の観点から許容される岸壁の変形を目安として、75メートルと0.3メートルで保守的な許容限界を用いることとして、
0:37:20	今回の許容限界を0.3メートルというように設定をしております。
0:37:26	通しの1077ページをお願いいたします。
0:37:37	こちら表、
0:37:39	4-1に、許容残留変形量0.3メートルとした時の照査値一覧をお示しております。
0:37:45	最も厳しいものでも、0.14となり、十分な余裕があるという結果になりました。
0:37:51	本コメント回答については以上となります。
0:37:54	続いて関連するものも多くございますので、方等補足説明資料についての適正化についてご説明いたします。
0:38:02	資料2の18ページ、お願いいたします。
0:38:16	適正化No.904。
0:38:19	せ、浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料の967ページにおいて、設計の進捗に伴い、県中の数を適正化しましたというようにしております。
0:38:31	こちら、資料4-1の967ページをお願いいたします。
0:38:49	こちら、図2ポツ2-1に、漂流防止措置の概要図をお示しております。今回作成しました資料では、土産護岸の上にごございます係船中を4本に減らしております。
0:39:02	こちらの4かと言いますと、発電所側の実運用上で必要な個数、並びに港湾基準に基づいた適正な個数として4本を配置しております。
0:39:17	続いてヒアリングの際にいただいたコメントについて、参考資料を用いて作成しましたので、そちらを用いて説明いたします。
0:39:26	通しの1141ページをお願いいたします。
0:39:38	こちら先日の11、すいません1月13日のヒアリングにて、
0:39:45	ございました。値上げ5番の世良ブロックについて構造形状の詳細を明確にした上でジョイント要素の設定の考え方を詳細に記載することというコメントに対する、
0:39:56	資料となります。
0:39:57	参考資料2、漂流防止装置気相の護岸構造の詳細として、漂流防止措置基礎値上護岸多重鋼管杭の位置する部分の護岸の構造、使用材料

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



	及び解析上のモデルの詳細を説明するという資料をご用意いたしました。
0:40:15	こちら後のページには2号案及び多重杭基礎のそれぞれの挺進評価断面の位置における護岸の構造及び世良ブロックの構造、物性値、ジョイント要素について、
0:40:27	記載をしておりますが、こちら説明についてはこちら、今回割愛させていただきたいと思っております。
0:40:35	当初の1150ページをお願いいたします。
0:40:46	こちらはコメントにも残っていないのですが先日も先日ヒアリングを受けて他サイトに倣いまして、久慈坂総合性をバネモデルについて参考資料3として消化したものでございます。
0:40:58	1151ページをお願いいたします。
0:41:04	2ポツとして、漂流防止措置木曾多重鋼管杭は、類として設計をいたします。そのため杭をツチヤすり抜ける現象を考慮するために、二次元有効応力解析における、地震応答解析において、
0:41:18	3次元的现象を考慮できる手法として
0:41:22	このようなモデルを設定することとしております。
0:41:26	これ以降FLIP研究会の資料を抜粋しております。
0:41:33	また先日、標榜措置については耐震計算の方針につきましても、いただきましたコメントを踏まえて適正化をしたものを今回、③番の資料としてお持ちしております。
0:41:49	以上で漂流防止措置に関するコメント回答、及び適正化についての説明を終わります。
0:41:57	はい。中国電力のセイキです。1点補足をさせていただきたいのですがよろしいでしょうかはいどうぞ。
0:42:05	はい。
0:42:07	4-1の資料の
0:42:10	1100、
0:42:12	36ページをお願いいたします。
0:42:17	こちら先ほど説明させていただいた許容限界の参考資料の中のページとなっておりますが、マスキングをつけております。
0:42:28	こちらマスキング箇所の内容について、少し、どういったものかというのを説明させていただきたいのですが、いかがでしょうか。
0:42:38	はい。
0:42:38	お願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:44	はい。それでは、松木の課長について説明させていただきます。中国電力ヨシツグです接続さ、ちょっとお待ちください。あ、すいません。
0:42:53	はい。はい。
一時中断	
0:00:00	どうぞ再開します。
0:00:03	はい。マスキング部分の説明は、わかりました。
0:00:09	それでは
0:00:11	今説明があった内容について確認する点がある方。
0:00:17	お願いします。
0:00:29	規制庁のハットリです。1001146 ページをお願いします。
0:00:42	今回護岸の上部工は、
0:00:47	一応体裁上は結城委員の壁にムキンのパラペット、ああいう金のパラペットに無菌の上部コンクリート、
0:00:58	を定着させてるという構造だと思います。
0:01:02	この鉄筋図を見れば、十分定着長が確保されてるなっていうことがわかるんですけど。
0:01:08	今までのこういう形式、何か議事録容器もそうですけど、
0:01:13	もうありましたので、一言一体化についてきちんと定着がされてるんだよということを、
0:01:21	どこかに明記しておいていただくことはできませんでしょうか。
0:01:26	中国電力のセイキです。
0:01:28	上部コンクリート無菌と下のブロックの方、パラペットの方ですね、一体の鉄筋が入っているものであるという旨を
0:01:39	図面だけではなくて文章の方にも記載させていただきたいと思います。以上です。規制庁の服部ですだから他のところと同じように、十分定着があるから一体カーになってますよということを、
0:01:51	説明している書いていただければと思いますので一体化っていうキーワード、他のところもありますんで、
0:01:56	その旨を記載していただきたいということですのでよろしく申し上げます。私からは以上です。
0:02:02	中国電力のセイキです一体化というキーワードを入れるということで承知いたしました。
0:02:09	はい。規制庁、由良です。他よろしいですかね。はい。ではコメントの 82 番については、説明いただいた内容で結構ですので了といたします。
0:02:21	それでは次の説明は、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:27	はい。
0:02:32	すいません、関川層で引き続き
0:02:35	お願いいたします。
0:02:44	いや、
0:02:47	誹謗装置についての説明は以上となります。
0:02:52	すいません。
0:02:58	はい。すいません。中部電力です。すいません江藤本社が
0:03:02	地盤の支持性能とあと建築さんのコメント回答があると思いますので引き続きお願いいたします。
0:03:17	中国電力の仲村です。
0:03:19	それでは資料 6 から 8 を用いまして制御室建物についてご説明いたします。
0:03:25	資料 6 番回答整理表の 2 ページをお願いします。
0:03:32	指摘事項のナンバーツーについてご説明いたします。
0:03:38	名前、2 番ですけどもコメント内容としましては、基礎スラブの応力解析における、
0:03:43	地反力分布等を示して浮き上がり状況について説明することです。
0:03:49	これは回答としましては資料 8 番、補足説明資料の 57 ページをお願いします。
0:03:59	57 ページの図 7-3 としまして基礎スラブの応力解析における接地圧分布について水平 2 方向及び鉛直の組み合わせ。
0:04:10	それから水平 1 方向と鉛直の組み合わせそれぞれについて追加しております。
0:04:15	またそれぞれの図の右下に接地率の値についても記載しております。
0:04:22	ナンバー2 番の回答としては以上となります。
0:04:29	規制庁の三浦です。これ一、後で出てくる審査会合資料も同じなんですけど、
0:04:36	この
0:04:37	57 ページの図、これ自身方向入れといていただけますか。
0:04:44	中国電力の仲村です。はい、承知いたしました。はい方向について記載いたしますそうですね。だから 2 方向だったらこれ多分、上から下と、右から左とか、何かそんなふうな感じですよ。下の図だと、上から下、
0:04:59	鉛直は上向きでやってるのかな。ちょっとそれも含めて、
0:05:03	ちょっとこの図の同士、どういうふうな外力のもとにこういうふうな図になってるかっていうのちょっと説明をしておいてください。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:12	はい。中国電力仲村です。衛藤方向としましては南から北へと、図でいう下から上が、メインはすいませんちょっと私勘違いしました浮いてる方向そうですね。
0:05:26	そうですねはい。とにかくこの図がどういうふうな外力のもとにこの図が出てきてるかっていうその背景をちょっとずっと、地震方向等を示して、
0:05:36	説明を加えておいてください。
0:05:39	はい。そうしました方向について強低下いたします。以上です。
0:05:46	はい。
0:05:47	それではコメントの2番については今回量としまして後、今のところで適正化の方お願いします。
0:05:56	それでは次の説明をお願いします。
0:06:00	中国電力の中村です。はい。それでは資料6回答整理表の1ページをお願いします。
0:06:08	申し送り事項に対する回答について一部適正化しておりますのでご説明いたします。ナンバー28の回答ですけれども、
0:06:18	基礎スラブが比較的薄い衛藤物に対して弾性解析を採用する、適用性の説明として赤字の部分ですね、コンクリート鉄筋が強非線形領域に至っていないことということを追加しております。
0:06:34	同様の内容は、補足、資料8番補足説明資料の38ページにも追加しております。
0:06:41	セールス建物の適正化のご説明は以上となります。
0:06:48	はい、井藤吉良です。はい。今の説明については、はい。量といたします。
0:06:55	それでは、次の説明をお願いします。
0:07:00	中国電力の仲村です。はい。それでは続きまして資料9番と10番を用いまして原子炉建物基礎スラブの耐震性についての計算書をご説明いたします。
0:07:11	資料9番回答整理表の1ページをお願いいたします。
0:07:18	申し送り事項、ナンバー24の解答欄について一部適正化、記載の追加を行っております。
0:07:26	衛藤。
0:07:27	EL1.3から15.3の壁を積層シェル要素でモデル化することについて先行実績を踏まえてという記載を追加いたしました。以上です。
0:07:41	はい、規制庁チギラです。はい。この内容で結構です。次お願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:54	中国電力の中村です。衛藤。資料 10 番について少し、ご説明させていただきます。
0:08:01	資料 10 番の通しの 2 ページ、目次のページになりますがお願いいたします。
0:08:07	2 ページに赤枠で今回提出範囲ということで、別紙 1 から別紙 2 までの範囲を赤枠で囲っております。
0:08:18	江藤。次回 2 月 22 日のヒアリングにおいてはこれに加えましてその下の別紙 2-1、応力解析モデルでモデル化している部材の扱いについて、
0:08:28	も追加したいと思います。こちら、基礎スラブの応力解析において江藤している要素でモデル化している壁に発生する応力を踏まえた健全性の確認の資料となります。ご説明は以上となります。
0:08:46	はい。規制庁吉良です。はい。今の説明についてははい、わかりました。
0:08:53	それでは、次の説明をお願いします。
0:09:00	中国電力の今村です。続きまして、暴排機逆T擁壁の品質確認結果について、現状の結果を資料No.12 を用いてご説明させていただきます。
0:09:14	資料ナンバー12 は、N-S2 を 02301 回、11 の資料となります。
0:09:19	地盤の強い性能のついての資料となります。
0:09:24	本資料につきましては、目次に赤枠で決算範囲を示させていただいておりますが、今回は参考資料 13 のうち、4.5 章に記載されております新設改良地盤である、逆T擁壁の改良地盤、1 から 3 について、
0:09:37	現地の実施施工の人数確認結果を、5 章の品質確認方針の時、5.5 章に追記させていただきましたので、その内容をご説明させていただきます。
0:09:47	参考資料 13-133 ページ目をご参照ください。
0:09:59	参考資料 13-133 ページ目からは、新設改良地盤である防波壁逆T擁壁の改良地盤、1 から 3 についての品質確認結果を黄色ハッチングにしている通り追加しておりますので、内容についてご説明いたします。
0:10:12	133 ページ目の、まず、(1)につきましては、暴排機過去逆T擁壁の改良地盤、1 から 3 の品質確認のために実施する現地試験及び試料採取位置について、
0:10:23	今回お示しするデータの位置を図の図 5、5-1 に示しております。
0:10:29	現地試験及び試料採取位置につきましては、既設構造物の配置等を踏まえ、概ね均等の配置なりを配置しております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:36	また、品質確認における試験実施項目及び数量につきましては、表の5-5-1に示しておりますが、人日の5.4章の品質確認方針、方法に基づき、
0:10:48	PS検層改良地盤1、1から3については合計20本。
0:10:52	参事檜木参事官圧縮試験につきましては改良地盤0102、及び改良地盤03において、それぞれ3試料ずつしております。
0:11:02	なお表5-5-1の下に青枠で示させていただいておりますが、表5-5-1に示すPS検層及び3軸圧縮試験数量のうち、今回報告できていない試験結果。
0:11:13	PS検層につきましては20本中残り14本、39圧縮試験につきましては改良地盤、③の3章については、追ってご説明とさせていただきます。
0:11:24	続きまして134ページ目をお願いいたします。
0:11:29	134ページ目では、品質確認試験結果をお示しております、
0:11:34	改良地盤0102のPS検層試験結果を表5-5-2に、改良地盤3のPS検層試験結果を表5-5-3にお示しております。
0:11:44	また、135ページ目には、改良地盤0102の3軸圧縮試験結果を、図を図5-5-2にお示しております。
0:11:54	続いて、136ページ目をご参照ください。
0:12:00	136ページ目からは、(3)といたしまして、某廃棄括弧逆T擁壁の改良地盤①から③の品質確認の試験、試験結果と、品質確認の管理目標値との対比結果をお示しておりますので内容をご説明いたします。
0:12:14	まず、136ページ目の表5-5-4につきましては、改良地盤01から3におけるPS検層の試験結果同管理目標値との対比をお示しております、
0:12:25	いずれの管理、改良地盤につきましても、PS検層のS波速度の試験値は管理目標値を上回っており、改良地盤の解析用物性値が確保されていることを確認いたしました。
0:12:36	続きまして3軸圧縮試験の試験値等管理目標値との対比につきましては、137ページに示しておりますが、まず、待避をするに当たりまして、二次元動的FEM解析、FLIPとフラッシュ解析を実施して、
0:12:50	改良地盤の発生を迂回を確認することといたしました。その結果をまず138ページにお示しておりますのでご参照ください。
0:13:02	138ページの上図の図5、5-6につきましては、初圧は今回初出しの資料となりまして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:10	2次元等でFEMのFLIP解析での逆Tの改良地盤における最大使用力を示しております。
0:13:17	また下図の図5-5の何名につきましては、すでにご説明させていただいております後述の参考2でお出ししている改良地盤を通る滑り図。
0:13:26	最初、
0:13:27	フリーズ最初ケースにおける2次元動的FEMのフラッシュ解析での改良地盤における最大省力をお示しております。
0:13:35	この二つの海水結果から、使用力範囲を、
0:13:40	発生する。
0:13:41	水使用量範囲と、39圧縮試験結果と管理目標値との関係を示した増137ページ目にお示しておりますのでご参照ください。
0:13:53	137ページ目の図の5-5-4につきましては、改良地盤、①及び②改良地盤位置についての対比結果を示しておりますが、
0:14:03	FEM解析による発生応力範囲、カッコ50から650kN%
0:14:09	めいた事情では、赤の実線でお示しております品質確認の試験結果が、赤の破線でお示しておる、おります、管理目標値を上回っていることを確認いたしました。
0:14:22	改良地盤③につきましては、次回以降、ご説明させていただきます。
0:14:27	はい。
0:14:28	防波壁逆T擁壁の品質確認試験結果につきましてのご説明は以上となります。
0:14:36	はい。規制庁木田です。それでは、今の説明に対して確認する点がある方、お願いします。
0:14:45	規制庁の江崎です。私の方からですねちょっと記載の充実ってということで、
0:14:50	133ページですか。
0:14:53	図の5-5-1。
0:14:56	ここで3軸試験の最終は示されてるんですけど、PS検層の位置も20本。多分、満遍なく取ってるっていうか、ことがわかるように、
0:15:06	それをも付記していただけますでしょうか。
0:15:13	はい中国電力ユリです。
0:15:15	今こちらの平面図の方で、PS検層20本のうち6本を示してるものの維持をお示してございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:24	図の右側の方で6本って書かれているところで赤丸でお示しをさせていただきますけども、今後、残りの10本、4本につきましても、3月30日の審査会合までにご説明したいと考えておりますので、
0:15:44	中国電力シミズ今できてるのがこの箇所です、今からこのこれ以外のところとも物をお示ししようと思っておりますので、今後はですね何ていうか全体的に取れたというのをお示しできるかなと思っております以上です。
0:15:59	6本って書いてあっても、何の6分ぐらいかわかんないですね。
0:16:05	PS検層がこれ6ヶ所ってことですよ。そうですねはい。中国電力シミズあの6本のコアを抜いてそこでPS検層を実施したということで、もうちょっと拡大図を示せばあの位置は示せると思いますけど、ここだけで終わらせるつもりはなくてですね、これ以外、
0:16:22	幅広にやっていますのでそれ以外のところの結果も、少なくとも20本はお示ししたいと思っております。以上でございます。はい。
0:16:50	はい、イトウというやつほか、
0:16:53	よろしいですか。
0:16:55	すみませんちょっと私から、この品質確認試験の結果を、まああの会合で説明すると思うんですけど、
0:17:03	それって会合のとき、いつですか、去年の会合で、その結果説明してくださいねみたいなので、コメン等、
0:17:13	としてなっていないコメントにはなっていないですね。
0:17:22	はい。中国電力、どうぞ本社からお願いします。
0:17:29	はい中国電力のユリです。会合の方で参考でお示しするっていうことで、いただいておりますので、コメントになってなかったと記憶しております。以上です。
0:17:43	はい。中国電力ヨシツグでございます。はい。
0:17:48	今回の工認資料の方にもですね、
0:17:51	この結果を示しますという話をさせていただいております。ところで、会合において、
0:17:59	今後ご説明しますという話になっていたというふうに理解しております以上です。
0:18:05	はい。わかりました。この経緯だけちょっと確認させていただきました。
0:18:21	はい。規制庁知久です他。
0:18:25	はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:18:26	あれですかね。では介護のパワーポイント資料以外で説明する内容としては以上でしょうか。
0:18:36	はい。中国電力、伊佐です。はい。こちらで以上となります。
0:18:41	はい。それでは資料の一番に行く前にちょっと時間も2時間ぐらいになりますので、ちょっとここで一旦休憩を挟みたいと思いますので、
0:18:54	よろしくお願いします。
0:18:57	はい。規制庁チギラです。それでは再開し、ヒアリングの方を再開いたします。
0:19:04	それでは、藤都築の
0:19:07	資料について説明をお願いします。
0:19:11	はい。
0:19:12	中国電力の小池です。
0:19:14	それでは工認補正に係る論点整理といたしまして、資料番号1でご説明をさせていただきます。
0:19:22	まず1ページをお願いいたします。
0:19:24	説明内容についてお示しをしております。
0:19:28	ご説明内容といたしましては、1ページの表にお示しの通り、7項目と、
0:19:34	2ページの表にお示しの通り、1項目についてご説明をさせていただきます。
0:19:40	1-5は漂流物対策工、
0:19:42	1-9は、波返し重力擁壁に関する詳細設計申し送り事項のご説明。
0:19:49	4-6は、制御室建物基礎スラブと原子炉建屋基礎スラブに関するその他の詳細設計に係る説明事項のご説明。
0:20:00	2ページの1-10は、土石流影響評価に関する詳細設計申し送り事項のご説明になります。
0:20:08	3ページをお願いいたします。
0:20:12	漂流物対策工の概要をお示ししております。
0:20:16	恐竜対策工は、防犯基金設置する漂流物対策工と、
0:20:21	もう廃棄通路防波扉に設置する漂流物対策法がございます。
0:20:26	4ページをお願いいたします。
0:20:29	4ページに、
0:20:30	戸籍に関する内容と回答をお示ししております。
0:20:34	コメント内容といたしましては、塑性状態まで許容する漂流対策工の設計方法は先行実績がないため、説明することです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:45	初めに、棒配筋設置する漂流物対策についてご説明をさせていただきます。
0:20:50	6 ページをお願いいたします。
0:20:55	漂流物対策工の構造概要をお示しております。
0:21:00	7 ページをお願いいたします。
0:21:02	漂流物対策工の役割及び性能目標をお示しております。
0:21:08	要求機能として、漂流物衝突荷重を分散して、棒背景伝達すること、及び漂流物衝突荷重による暴排機の局所的な損傷を防止することを踏まえ、
0:21:19	性能目標として鉄筋コンクリート製盤がせん断破壊しないこと及び構造材が破断しないこととしておりますが、京王玄海は、概ね弾性状態に留まることを、記載しております。
0:21:32	8 ページをお願いいたします。
0:21:36	漂流物対策工鉄筋コンクリート製盤の耐震評価の方法と評価結果をお示しております。
0:21:43	棒廃棄の地震応答解析結果に基づき、
0:21:47	地震時の慣性力により漂流対策法は、
0:21:50	暴排か分離しないことを確認する旨を記載しております。
0:21:54	9 ページをお願いいたします。
0:21:58	漂流物対策工、鋼材の耐震評価の方法と評価結果をお示しております。
0:22:04	漂流物対策工鋼材は、
0:22:06	後半に補強鋼材交渉に配置した構造であることから、3 人構造解析により耐震評価を実施する旨を記載しております。
0:22:15	10 ページをお願いいたします。
0:22:19	漂流物対策工鉄筋コンクリート製盤の強度評価の方法と評価結果をお示しております。
0:22:26	津波時の荷重に対して漂流対策を構成する鉄筋コンクリート盤がせん断破壊、または鋼材を破断しないことを確認する旨を記載しております。
0:22:36	11 ページをお願いいたします。
0:22:40	漂流物対策工鋼材の 3 人構造解析による強度評価の方法と評価結果をお示しております。
0:22:48	暴排機設置する漂流物対策工の説明は以上となります。
0:22:53	説明者かわります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:58	中国電力の浦です。続きまして防波壁通路防波扉に設置する上流部対策工についてご説明します。
0:23:05	説明ですが、まず、兵頭酒匂の詳細設計結果についてご説明し、そのあと、2月8日の防波堤のヒアリングでご指摘のあった、材料の異なる構造物が混在する場合の衝突荷重の考え方。
0:23:20	これは次回の22日のヒアリングで回答予定でございますが、本資料でも、共同計算の調査結果をお示したこともありますので、回答内容の概要について、口頭でご説明いたします。
0:23:33	まず、資料1の13ページをお願いします。
0:23:39	1ポツとして、標準対策工括弧防波扉の設計方針をお示しております。
0:23:44	防波扉に秋葉ミナミ及び3号機東側、某ハードウェア漁船等の表示物が直接衝突しないよう、前面に防波扉の一部として、漂流物対策工を設置いたします。
0:23:56	漂流物対策工を構成する各部位につきましては、短期許容応力度を許容限界としまして、耐震評価結果及び強度評価結果を示しております。
0:24:06	14ページをお願いします。
0:24:11	2ポツで共有対策課窪田ベッド防波扉の耐震評価及び強度評価の方法をお示しております。
0:24:18	耐震評価及び強度評価は、右側の図4の評価対象断面を設定した上で、二次元有限要素法により解析を行い、施設に生じる応力が許容限界以下となることを確認いたしました。
0:24:32	なお2番ミナミの評価対象断面につきましては、液状化への影響及び安定性の影響の観点から、耐震評価上保守的な設定であることを確認しております。
0:24:42	15ページをお願いします。
0:24:46	こちら3ポツで協力対策工括弧防波扉の耐震評価及び強度評価の結果をお示しております。
0:24:52	防波扉に萩谷ミナミ及び防波扉3号機東側における漂流物対策につきましては、調査結果を表2と表3にお示しておりますが、耐震評価及び強度評価において、
0:25:04	施設地盤の構造健全性を保持すること、及び十分な支持性能を有する地盤に設置していることを確認いたしました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:13	なお、防波扉の漂流物対策につきましては、2月8日の大畠由良計算書のヒアリングでの三浦様からのコメントを踏まえまして、材料の異なる構造物が混在する場合における、
0:25:24	衝突荷重の設定方法の見直しを行っております。
0:25:28	今回のヒアリング資料では提出の関係から修正ができておりませんが、次回の22日の主な説明事項、事項のヒアリングでは、資料を修正してご提出いたします。
0:25:39	本日はその衝突荷重の見直しの概要と、見直しに伴う、本資料パワーポイント資料の修正部分についてご説明します。
0:25:48	ご説明が資料4-2なんですけどもこちらちょっと先日のヒアリングの資料でございまして、もし皆さん、あまり用いなければ、この本資料のパワーポイントを用いてご説明いたしますが、いかがでしょうか。
0:26:02	はい。資料4-2はですねちょっと手元にない人が多いので、ちょっとパワーポイントで概要を説明いただけますか。
0:26:12	中国電力の織田です。承知いたしました。
0:26:14	それでは資料1のパワーポイント資料の15ページの図7を、ご確認お願いします。
0:26:23	前回のヒアリングでは、図7で示す、標準対策工は、構成額これが黄色の部位の右側の方なんですけども、こちらとそれを支える薄いグレーのRCC中、
0:26:36	こちら全体で衝突荷重を負担するとして、全体14メートル幅で処す荷重を受け持つとして、構造物構造物延長14メートルのときの、
0:26:47	衝突荷重に基づきまして、その値を上回るように衝突荷重を設定しております。
0:26:53	しかし、この漂流物対策につきましては、RC部と鋼材部から構成されており、衝突荷重の作用面において、材料が異なる構造物が混在していることから、
0:27:04	構成主体を構成する部材のうち、主横形につきましては、前回までの評価に加え、船舶による選手をず、この荷重は520kNパーメートル作用幅6メートル、
0:27:16	として設定し、共同計算において考慮することといたしました。
0:27:21	先週衝突を考慮した場合の共同計算結果につきましては、
0:27:25	宮城坂南野漂流対策において、集横型の曲げ照査で、前回よりも少し厳しい評価となることを確認いたしました。
0:27:34	所達といたしましては、曲げ照査で、前回の0.343から、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:39	2.359 となっております。
0:27:43	前回比、前回の評価時には集約型の芸能正田値が最大となるケースを評価できておらず申し訳ありませんでした。
0:27:51	このことを踏まえまして共同計算の敷設につきましては、評価方法と結果の箇所について5、修正いたします。
0:28:00	資料1のパワーポイント資料15ページを用いまして、パワーポイント資料への影響の有無についてご説明します。
0:28:08	船首衝突の考慮により、一部の人たちが厳しくなることを確認しましたが、
0:28:13	15ページの右側の表3、こちらは強度計算で各部位の照査値が最大となるケースをお示していますが、
0:28:22	構成額の照査値が最も厳しく厳しくなるのは、丹羽稲見さん、東側ともにせん断括弧と辺りでございます、
0:28:30	これは周囲をコウゲたに係る合計荷重から求まる断面力であります。
0:28:35	今回の見直しでは、この人たちについては上回りませんでした。
0:28:39	よって今回の見直しに伴うパワーポイント資料の修正はございません。
0:28:47	次に、漂流防止装置についてご説明します。
0:28:53	資料1の17ページをお願いします。
0:29:01	こちらへ漂流防止装置かつ多重鋼管杭基礎における耐震評価を示しております。
0:29:07	まず、設置変更許可審査を踏まえた詳細設計段階における検討内容についてご説明します。
0:29:15	左下の図1に、漂流防止装置基礎かつ多重鋼管杭の設置位置をお示しております。
0:29:21	燃料等輸送線を漂流させない対策、対策として、多重交換業者として耐震性を有する漂流防止装置を追設することといたしました。
0:29:31	多重鋼管杭は、右側の図2に示す通り、岩盤に支持させる構造としまして、条文漂流防止装置として計算値を設置します。
0:29:43	こちらの設計に当たりましては、基準地震動Ssによって発生する応力が短期許容応力度以下となることを確認します。
0:29:51	18ページをお願いします。
0:29:57	こちらに詳細設計申し送り事項に対する回答をお示しております。
0:30:02	まず詳細設計申し送り事項ですが、まとめ資料の絵での当社の記載としまして、罫線中を追設することと、ケース移設する係船中の詳細設計の結果をご説明する。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:14	ことを記載しております。
0:30:16	こちらの分類はBでございます。
0:30:18	それに対する回答は、漂流防止装置基礎カッコ多重交換分については、地盤物性のばらつきを考慮した上で、施設の評価を実施した結果、協議会以下であることを確認したとしております。
0:30:30	19 ページをお願いします。
0:30:35	こちらの耐震評価対象断面としましては、岩盤上部の標高が低く、動圧が大きくなると考えられる南側の多重鋼管杭設置 1 段目を選定しまして、
0:30:45	二次元有限要素法により、解析を行った結果、
0:30:49	表右下の表にお示している通り、最大消費地 0.64 でございます。施設地盤の構造健全性は十分に保持することを確認いたしました。
0:31:01	表示防止装置に係る説明は以上です。説明者交代します。
0:31:07	中国電力のソウダです。20 ページお願いいたします。
0:31:10	ここから波返し重力擁壁の主な論点として、表 1 の赤枠に示しております 2 項目についてご説明いたします。
0:31:18	まず、ケーソン中詰め材に関するご説明いたします。22 ページをお願いいたします。
0:31:28	ケーソン及び中詰め材の概要と、詳細設計段階における検討内容を、こちらにお示しております。
0:31:36	23 ページお願いいたします。
0:31:40	ご指摘に関する内容と回答をお示しております。
0:31:44	コメント内容は、防波壁波ハヤシ重力擁壁のうち、ケーソン隔壁内にて実施する中詰め材の改良について、その仕様及び範囲を説明するとともに、
0:31:55	試験等により設定した中詰め材改良体の解析用物性値を説明することです。
0:32:01	24 ページをお願いいたします。
0:32:05	中詰め材につきましては、全区画を高圧噴射攪拌工法により改良すること、及び、中詰め材改良体に対する試験位置及び試験項目についてお示しております。
0:32:19	25 ページをお願いいたします。
0:32:23	中詰め材改良体の試験結果及びそれを踏まえた解析用物性値を、この表 3 の通り設定することを記載しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:34	続きまして、3次元解析によるケーソンの健全性評価について説明いたします。27ページをお願いいたします。
0:32:46	詳細設計段階における、
0:32:49	検討内容として、評価対象断面をお示するとともに、3次元構造解析により評価する旨を、こちらに記載しております。
0:32:59	28ページをお願いいたします。
0:33:03	ご指摘に関する内容と、回答をお示しております。
0:33:07	コメント内容は、浪川重力擁壁のケーソンの構造成立性において、
0:33:12	物性値のばらつき係数を踏まえ3次元FEM解析結果から、計算が概ね弾性状態にとどまり、かつ取水性能確保でき防波壁として構造成立することを説明することです。
0:33:25	29ページをお願いいたします。
0:33:29	ケーソンの評価の概要について記載しておりまして、二次元有限要素法から地震時荷重を取り出して、3次元構造解析に作用させること。
0:33:40	及び評価項目について、こちらに記載しております。
0:33:45	30ページをお願いいたします。
0:33:49	3次元構造解析の概要についてお示しておりまして、計装の役割、性能目標、
0:33:57	あと、それを踏まえた許容限界を表1表にお示しております。
0:34:03	31ページをお願いいたします。
0:34:09	3次元構造解析におけるケースの評価において、各部材の評価フローと、二次元有限要素法から選定する調査時刻の考え方を、
0:34:20	図6、表3にお示しております。
0:34:23	32ページをお願いいたします。
0:34:26	2断面及び44断面の評価結果をお示しております。
0:34:32	いずれの調査項目についても、許容限界を満足したことを確認した旨記載しております。
0:34:38	33ページをお願いいたします。
0:34:41	33断面の評価結果として、評価結果をお示しております。
0:34:46	まず、側壁及び帳場については、許容限界を満足すること。
0:34:52	次に、底盤については、許容限界を超える範囲は、局所的で、
0:34:58	やはり部材全体、全体として機能が損なわれていないこと。
0:35:02	最後に核兵器については、3次元線形解析の結果から、許容限界を満足していることをお示しております。
0:35:10	ここで説明者を交代いたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:15	中国電力の仲村です。続いて、4-6の(1)制御室建物基礎スラブの応力解析における付着力の適用についてご説明いたします。
0:35:25	35ページをお願いします。
0:35:27	1ポツ概要としまして制御室建物の地震応答解析においては、付着力を考慮した基礎浮き上がり線形モデルを用いていること。
0:35:36	一方で基礎スラブの応力解析においては付着力を考慮した浮き上がりを考慮していることから、その評価結果を示す旨を記載しています。
0:35:45	36ページをお願いします。
0:35:48	36ページでは、制御室建物の構造概要と評価方針として、
0:35:53	基準地震動Ssに対する応力評価を行う旨を記載しております。
0:35:58	37ページをお願いします。
0:36:01	基礎スラブの応力解析におけるモデル化範囲、モデル化概要モデル概要についてお示ししています。
0:36:10	38ページをお願いします。
0:36:13	境界条件として、基礎底面の付着力、0.4ニュートンパースコアmmを考慮した、ギャップ要素の御説明を記載しています。
0:36:21	また側面の後続効果として側面地盤ばねを考慮する旨を記載しています。
0:36:28	続く39ページには、材料構成則としてCCV規格に基づく非線形特性をお示ししています。
0:36:37	40ページをお願いします。
0:36:40	ボポツ荷重の組み合わせケース及び入力方法として荷重の組み合わせケースと入力方法について記載しております。
0:36:48	また、6ポツ、断面の評価方法としてCCV規格及びRCN基準に基づき、断面を評価する旨を記載しています。
0:36:57	41ページをお願いします。
0:37:00	7ポツ評価結果としてSs地震時における検定時が最大となる要素1、それから、表1として評価結果、それから、図-9として接地圧分布をお示ししています。
0:37:14	先ほどのご指摘踏まえましてこちらの接地圧分布に地震力の方向は次回追記いたします。
0:37:21	42ページをお願いいたします。
0:37:25	42ページは、水平2方向及び鉛直方向地震力を組み合わせた場合の影響についてお示ししています。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:37:32	お示している内容としましては先ほどの水平 1 方向プラス鉛直方向と同様の内容となっております。
0:37:39	続く 43 ページ以降が参考資料となります。まず 43 ページと 44 ページに、参考資料 1 としまして、地震応答解析では考慮していない側面地盤ばねを、
0:37:52	基礎スラブの応力解析で考慮していることから、
0:37:55	地震応答解析モデルに側面地盤ばねを考慮した影響検討について概要と結果をお示しております。
0:38:04	45 ページをお願いします。
0:38:07	45 ページには側面地盤ばねの適用性として、メモで埋め戻し状況の断面図と埋め込み状況をお示しています。
0:38:18	続いて 46 ページ以降で 4-6(2) としまして原子炉建物基礎スラブの応力解析モデルの変更についてご説明いたします。
0:38:28	47 ページをお願いします。
0:38:31	概要としまして設置変更許可時は、壁を梁要素でモデル化する予定でしたが、今回工認において、一部の壁及び床スラブを積層シェル要素でモデル化した応力解析モデルを、
0:38:43	採用することを、を記載しております。
0:38:47	48 ページをお願いします。
0:38:51	こちらは原子炉建物基礎スラブの構造概要をお示しています。
0:38:57	49 ページをお願いします。
0:39:00	49 ページには、モデル化方法の変更点としまして表 1 及び図 2 で、変更前後がわかる形でお示しております。
0:39:10	また 4 ポツ評価結果としまして Ss 地震時において客、各供用地温超えないことを確認した旨を記載しています。
0:39:22	続く 50 ページをお願いします。参考資料としましてモデル化方法の変更による影響及び保守性について記載しております。
0:39:33	なお本日、資料には記載しておりませんが、基礎スラブの応力解析において耐震益を積層シェル要素でモデル化していることから、
0:39:42	耐震セキの発生している応力を踏まえた壁の健全性に、
0:39:47	についての説明内容も、次回追加したいと思います。
0:39:52	続きまして 51 ページ以降でその他の説明内容としまして 1-10 土石流影響評価についてご説明いたします。
0:40:01	52 ページをお願いします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:04	概要としまして管理人管理事務所 4 号館が土石流により倒壊した場合に、防波壁に影響がないこととして建物を建築することで対策を行う旨を記載しています。
0:40:17	53 ページには確認結果としまして倒壊転倒滑動に対して防波壁の影響がないことを確認した旨、記載しております。
0:40:27	パワーポイント
0:40:29	資料の説明は以上となります。
0:40:33	はい。規制庁吉浦です。ご説明ありがとうございました。
0:40:36	それでは、8 項目、ルート、思います。で、一つずつですね、ちょっとやっていきたいと思いますので、
0:40:47	まず一つ目の
0:40:50	漂流物対策工防波壁のものです。
0:40:54	資料 1 の 3 ページから 11 ページまでの範囲ですが、
0:40:59	その範囲で、
0:41:01	質問コメント等、
0:41:03	あれば、
0:41:07	規制庁の江寄ですわCからですねちょっともう傷キが多いんですけど、
0:41:12	4 ページの、
0:41:14	回答の二つ目の矢羽根の矢羽根のね、3 行目。
0:41:20	今日、今日玄海は概ね弾性範囲にとどまることとしたじゃなくてとどめることにしたじゃないな。
0:41:28	言葉だけで、
0:41:31	続いて、
0:41:33	6 ページは、
0:41:35	右の下のねいわゆるアンカーを守っている、
0:41:41	不対策小
0:41:43	この位置がどこなのか後ろ見後の、後段のページ見るとわかるんだけど、ちょっとね、下部に説明するのにも、ちょっと説明しにくいので、図 2 の方に、多分、
0:41:53	マルか何かで、
0:41:55	部とかして、右の図は部拡大とか、
0:42:00	どこを意味しているのかがわかるようにしてください。
0:42:04	それと、7 ページは、
0:42:08	二つ、一つ目の矢羽根で書いてある防波壁の局所的な

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:12	損傷防止する機能または云々で、三方 5、
0:42:16	施設に分類されるって言うてるけど、この文章読む限りには津波影響軽減施設としか読めないんで、
0:42:23	ここはちょっとしっかりと書いてもらったほうがいいのかな。
0:42:27	うん。後ろの方にちょっとありましたけど、何だっけ。
0:42:34	扉のところでは、13 ページか。
0:42:37	ここでは、
0:42:38	防波壁の一部として漂流物対策を設置するとか、わかりやすいんですけど、こっちの
0:42:44	話とねそれともう 1 個は、
0:42:46	7 ページ戻って、この棒伴駅の局所的な損傷を防止する機能について、
0:42:54	要求機能としては分散を、荷重分散っていう話をしているので、何かちょっと話がかみ合わないんだよね。うん。
0:43:03	多分
0:43:06	そもそも、
0:43:07	チハラ、一つ目の矢羽根で、今まだ聞いている話だと。
0:43:12	防波壁の一部を増強とか、
0:43:16	部材厚を割り増しし、することにより、
0:43:21	荷重を分散して、オオハシの局所的な損傷を防止する、するとかそういう話ですよ、いわゆる一番足りないのは防波壁の一部だ。
0:43:34	ていう、
0:43:35	ことがないから、ここだけ読むと、
0:43:38	津波営業系計五つに分類されますねって話になっちゃうんで、
0:43:44	そうでは、
0:43:45	ないと思いますんでそちらの今の説明からするとそこがすごくあるなと思います。
0:43:52	続いているところが気づきだけなんだけど、これって、今更なんだけど、16 ページの、
0:43:58	そのタイトルなんだけど、今日リボ装置のかつこ多重鋼管ぐい、
0:44:03	競って何となく多重交換の場へ行くと。
0:44:08	誤解しにくいんで、するんで、
0:44:11	例えば何か何だっけ、桂川注記書とかのタイトルの方がいいんじゃないかなと思うんですけど、総計戦中が
0:44:21	あんだけまとめて補足説明資料の詳細資料の中では、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:24	鋼管ぐいっていう、多重鋼管ぐいっていうことになってるだけですよね。
0:44:29	なんでここちょっとなんか、
0:44:31	途中交換シキイを、
0:44:35	4 駅だっけ。
0:44:37	防波壁かそっちと区別がつくようにちょっとわかりやすい。
0:44:44	用語を使った方が、可能な限り、
0:44:47	いいんではないかということでそこは
0:44:50	提言だけなんですけどね。
0:44:56	抜本的にそんな話ぐらいしかないんですが、
0:44:59	あと、ちょっと確認、事実確認数は 24、これ、24 ページは行かないんですが、それじゃ、1 回これと止めましてちょっと先にいっちゃって、行き過ぎちゃったんではい。
0:45:17	はい。中国電力ヨシツグでございます。文章表現等、失礼いたしました。また
0:45:23	協力IIたい対策工、これの貿易の一部、設置許可のときにも言ってますので、ちょっとその文章足りておりませんでした。ここ修正させていただきます。以上です。
0:45:37	はい。規制庁チギラです。
0:45:39	それでは、ちょっと私の方からですね、協力対策、
0:45:44	で、確認させてくださいと。
0:45:50	まず 4、4 ページなんですけど、これ、記載だけなんですけど回答の二つ目と三つ目の矢羽根で、
0:45:58	ちょっと何か手振りがちょっと違うなって思ったんですけど、
0:46:06	合わせられるのであれば、ちょっと出方がいいかなってということでそこは特に
0:46:14	こうしろっていう話ではないんですけど、
0:46:16	ちょっと検討くださいっていう話です。
0:46:20	で、二つ目ですけど、
0:46:27	9 ページ。はい。
0:46:33	9 ページの一つ目の矢羽根で、3 次元構造解析に、
0:46:41	の
0:46:42	のところですね
0:46:45	慣性力を入力する。
0:46:48	広報なんですけど、その仮の入力方法っていうのは、これはあれですかね補足説明資料とかに記載されてますか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:00	はい。中国電力宗です。はい。その補足説明書の方ですね慣性力を、
0:47:07	モデルにかけますぐらいはちょっと書いていないという状況でございます。
0:47:13	全節点2なんか、
0:47:17	割り振って荷重をかけるとかそういう話かなとは思いますが、ちょっとその荷重の再開方法がわかるものをですね、補足の方でもいいと思いますので、どこかに記載していただけますか。
0:47:32	はい。中国電の井沢ですはい、承知いたしました。補足説明資料の方に、ちょっと荷重のかかり方、かけ方を追記させていただきます。
0:47:41	はい。
0:47:42	それで続いてと同じか9ページなんですけど、協力対策工なんですけど、ここの大金評価としては防波壁から分離しないことを確認するっていうのが、確認の内容なんですけど。
0:47:58	今回この、
0:48:00	では漂流物対策の鋼材については、
0:48:04	鋼板とか補強鋼材っていうのを大金の評価もしていてですね、もともとの強行法人と
0:48:13	に加えてちょっとおまけじゃないですけど、やっている共同評価でやっているから、耐震もやりましたっていう話かなと思いたんですけど、その辺のちょっと関係がよくわからないんですけど。
0:48:26	これは、
0:48:28	必ずしも評価は必要じゃないんですけどっていうことなんですかねちょっとその辺の考え方を説明ください。
0:48:37	はい。中部電力那須はい。
0:48:39	今日は今おっしゃられた通りでございます。
0:48:43	ちょっと対策を、コンクリート部の方ですね
0:48:47	その耐震の評価をしていないという理由で一つ縁を切っているというところがありましたので、そういったところ、図の方でも、
0:48:55	そこのめり入れてますというのは、ちょっともうちょっと書けてないなと思いましたが、ちょっとそういった記載を少しさせていただけたらと思います。
0:49:04	はい。
0:49:06	コンクリート版はそういった理由で、耐震評価しなくて、今回こちらの構台の方は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:18	評価をしていますと。
0:49:20	ということでその辺がですねわかるような形ですね、していただければ説明性が上がるのかなと思います。
0:49:30	はい。はい。はい。すいませんちょっと最初にちょっと
0:49:34	違いが少しわかるような文章を少し考えたいと思います。ありがとうございます。はい。
0:49:39	すいません続いて、9 ページなんですけど、図の 6 の、
0:49:45	ところの注記、
0:49:48	アンカーボルト、
0:49:50	前固定って書いたんですけど、
0:49:53	この前固定っていう意味がですね変えて求めているのかどうなのかっていうのがちょっとわからなかったんですけど、その図の 7 の発力のイメージ図の流の応力を見ると、
0:50:07	何かこの、このイメージずーっと品のイメージなのかなと思っていて、
0:50:13	実際どうんな。
0:50:15	考えでやってますか。
0:50:19	中国電力サービスはアンカーボルトできちんと止まっているというところで、
0:50:24	とですね確かかい。
0:50:26	点求めていたと思うんですけどすいません少し確認をさせていただけたらと思います。すいません。
0:51:00	あ、はい。
0:51:02	はい。すいません。
0:51:04	衛藤。
0:51:06	ちょっとすいません。おっしゃる通りだのかなと思ってます。一応ですね、
0:51:11	基本ここをなんかV層ご提出可能性、
0:51:15	接点出ている、引張せん断力で調査をしているところで、
0:51:20	一応アンカー部の方はそういった調査をしておりますが、すいませんちょっと青田の境界条件を確認させてください。
0:51:36	はい。
0:51:37	ちょっと固定の条件を確認していただいて、それとあとはこの図 7 のイメージ図でちょっとそれと整合してるかどうかとかですねその辺ちょっと確認していただければと思います。
0:51:50	はい。中国でのプロセス承知いたしました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:53	おはようございます。
0:51:55	はい。続いて 10 ページなんですけど、
0:51:59	法定
0:52:01	基本的に
0:52:04	漂流物対策工の鉄筋、コンクリート版は越智仁木せん断に対する強度計算すればいいですよっていう話なんですけど、ちょっと土木建築以外の方もいらっしゃるの、
0:52:17	何で押し抜きせん断だけ見ていけばいいんだっていう話もあるかと思うんですけど、そのそもそもスズキせん断破壊ってどう、どんな
0:52:27	現象で、それに対応していけばいいんですよっていうようなことがですね簡単にわかるといいなと思ったんですけどいかがでしょう。
0:52:35	はい。中国電力の伊佐です。承知いたしました。まず、今日ちょっと載せてますけどそれよりも後計算式の方載せたらちょっと。
0:52:46	方がまだわかりやすいのかなと、ちょっと
0:52:54	はい。
0:53:33	はい。中国電力ですはい。ありがとうございます。理解しました。
0:53:38	当間 1.5 の方ですね、それで全体にかかるときよりもちっちゃいの機能が厳しくなるとか、言った考えもしてましたのでそういったところを少し、
0:53:47	記載しましてしのぎ剪断で考えているんだという、ちょっと、そうですね、本経営とかあとは簡単な短い定義みたいなものがあったりすると、理解しやすいかなとは思んですけど、ちょっと検討いただけますか。
0:54:02	はい。中国電力、伊佐です。承知いたしました。ありがとうございます。
0:54:11	知識では、その下に何かちょっとポンチ絵みたいなもの書いてあそこうまく使おうかなとは、おはようございます。はい。
0:54:18	すいません 11 ページで、
0:54:23	二つ目の矢羽根のところ
0:54:26	津波荷重に加えて保守的に漂流物衝突荷重を考慮するっていうところのこの漂流物衝突荷重っていうのは、
0:54:34	直接喜納荷重の 1200kNなのかどうかということなんですけどこいつは何でしたっけ。はい。中部電力ですねここはその局所的な漂流物荷重を考慮しておりますのでちょっとすいません。
0:54:48	ちょっと上がそこ書いていたんですけども、上といいですか 10 ページですね。
0:54:52	11 ページの少し書けてなかったのですみません、追記をさせていただきます。はい。わかりました。はい。私から以上です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:22	規制庁の三浦です。私ちょっと気が付いたところだけ、4 ページで先ほどもちょっと、
0:55:29	江崎からも話だったら回答の二つ目の矢羽根なんですけど、
0:55:35	性能目標として鉄筋コンクリート製がせん断開始のこと口座が破綻しないこととしているが許容限界は概ね弾性域にとどまり、まとめる。
0:55:46	で、
0:55:47	そのあと、最終的に短期協力でいいかというあることを確認したってなってるんですけど、この共用許容限界を概ね弾性状態にとどめることにしたってことがこれ必要ですか。
0:56:01	なんかこれだけ見てると、1000 段階じゃないけど鋼材が破綻しないことをしているんだけど、表強度評価を実施した結果、
0:56:10	短期協力でいい方のことを確認したっていうことでは駄目なんですか。ちょっとそのこだわりがちょっとよくわからない。
0:56:32	はい。中国電力ヨシツグちょっと設置許可のときに、
0:56:36	このもとの対策工自体が壊れても相木に損傷を与えなければいい、いいかなということで、要求機能としてはですね、
0:56:46	対策工にどこまで
0:56:49	許容限界を求めるかっていう時に、
0:56:52	概ね弾性までは必要ないんじゃないかというご説明をまずさしていただいております。で、ただ新たに新規に設置するものですので、我々としては、
0:57:01	教育委員会として短期用の弾性状態にするものとして、結果もそうになりましたというご報告という形でちょっと、
0:57:10	複雑ではあるんですがこういった形を今進めさしていただいております。
0:57:41	わかりました。いろいろ経緯があつてこういう文書、
0:57:46	いやこれだけ見るとね、下の方を見ると、もう
0:57:52	下の方の下の方見るとね耐震評価強度評価を実施した結果、協力とい中であることを確認したって文章になってるじゃないですか。
0:58:00	上だけなんでここに1個許容限界が概ね弾性台状態と0っていうものをもう1個入れてんのかなっていうのはちょっとよくわかんなかったんですけど、いろいろ経緯があるようなので、
0:58:11	結構です。
0:58:12	だから、概ね弾性範囲に変えました。
0:58:23	うーん。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:58:29	わかりました。あと、どそうすると7ページ見てくるとね。
0:58:36	これもちよっと違和感があったんですけど、
0:58:39	上の文章で二つ目の矢羽根、教育委員会が概ね弾性にとどまるとした表に、3って出てますよね。
0:58:47	でも表 23 見ると、
0:58:49	概ね弾性にとどまることにしたっていう全然現れてないんですよ。
0:58:54	これちよっと何か、これもちよっと読んでいくと違和感があるんですが、どうでしょうか。
0:59:00	はい。中国電力吉富でございます。ここは、表 2 と 3 は性能目標のところまでしか書いてなくて、教育委員会が書いてないのでちよっとこの文章、
0:59:10	と表があってませんので、ちよっとここ
0:59:13	修正、追記をさせていただけたらと思います。はいお願いします。あと、9 ページ。
0:59:20	9 ページの一つ目の矢羽根の、
0:59:23	フーチングにおける慣性力って言葉あるんだけど、これ正確に言うとフーチングに生じてる加速度から求まる。
0:59:31	慣性力ってことですよ。
0:59:34	ちよっとほかのところでは、2 次元の地震と解析から求まる加速度に基づいて、慣性力とかがって言葉のでちよっとフェーズを合わせる意味でも、
0:59:42	ちよっと説明もちよっと加えてたらいいかもしれませんね。
0:59:47	はい。中部電力ですはい。ありがとうございますちよっとこれだけできなり、なのではい。ちよっと。
0:59:52	他のところの記載を合わせたりさせたいと思います。ありがとうございます。はい。私から以上です。はい。
0:59:59	4 ページ。
1:00:08	商品を、
1:00:12	ああ、そうだね。そうすると許可出てなかったらいいですよ。
1:00:22	具体的に書いております。
1:00:26	はい。中国電力ヨシツグでございます。今、12 月の時のパワーポイントの資料を確認いたしますと、
1:00:33	やはり塑性状態まで許容するっていうような、説明の文書になったポイントの方で説明をしておりましたので、今回、
1:00:43	衛藤、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:44	教育委員会を概ね弾性にするということになりますので、ちょっとそこがわかるように
1:00:52	論点、
1:00:58	確かに
1:01:03	はい。中国電力ヨシツグです。了解いたしました。ここちょっと12月、一昨年の12月の時のパワーポイントも見ながら、ちょっと修正させていただきます。以上です。
1:01:21	規制庁の服部です。
1:01:24	私から何点か確認をさせていただきます。
1:01:27	すいません少し範囲から外れるんですけど、
1:01:30	1ページ2ページ。
1:01:37	この上の四角、
1:01:41	説明内容とその下、その他の説明内容とあって、
1:01:46	審査の上は審査の中で論点として整理された項目。
1:01:51	下は審査の中で論点としてされた項目の、
1:01:56	確認結果って書いてあるんですけど、
1:01:58	これはどういう、
1:02:02	ことでこういう違いを聞いてるんですか。
1:02:06	これ、この違いって何なんでしたっけ。
1:02:13	すいません少々お待ちください。あ、すいませんそちら、中部電力、内藤さんおられますか。
1:02:30	今、
1:02:32	不在の中央電力と本社の方です。ナイトウの場合の席を外しておりますので少々お待ちいただいてもよろしいでしょうか。
1:02:48	磯野ハツリですはいわかりました。もう1点だけこのページで確認なんですけど、
1:02:53	これ最初のところ先ほど少し説明があったと思うんですけど、
1:02:57	この括りというのは、漂流物棒、ごめんなさい漂流物対策工について説明しますよっていう立て付けの中に、
1:03:07	括弧して、防波壁等、
1:03:09	防波壁通路扉等、あと漂流物装置が含まれてるというようなたてつけで、
1:03:16	中国電力側説明しようとしてるという理解でよろしいですか。
1:03:21	はい。中国電力ヨシツグでございます。これは一昨年の12月の時に、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:27	論点として漂流物衝突荷重というのが設定っていうのでまず挙げておりました。で、
1:03:33	それで、それに対する対策法ということで1-5の、
1:03:37	一番と2番を挙げておまして、その中で、その協力衝突荷重の
1:03:46	まだ係船中の1を、
1:03:48	どこに設置するかというのが決まっておりましたのでもし協力少数するということがあれば、ということでこの係船中についても、この漂流物衝突荷重の設定の中でご説明しますという、
1:04:01	当時パワーポイント上で整理しておりましたので、ちょっと今では少し場所が当たらない位置になったんですけども、
1:04:08	この漂流恐竜に関する位置付けということで1-5の中にまとめて入れているという状況でございます。以上です。
1:04:15	規制庁の服部ですすみませんちょっとたてつけだけで申し訳ないんですけど。
1:04:19	表裏物防止装置というのは、漂流物対策工のくくりの中には入らぬ入るのか入らないのか。
1:04:28	はい。中国電力ヨシツグでございます。はい。
1:04:33	はい、荷重の堀江藤。
1:04:36	対策をあくまでも、防波壁とか扉の一部という整理でございまして漂流防止装置は、もう単体の構造物という整理で今やっております。以上です。
1:04:46	規制庁のハツリですはいわかりました。
1:04:54	中国電力の内藤です。
1:04:57	先ほど
1:05:00	ピンチの、
1:05:02	詳細設計申し送り事項と、
1:05:05	あと、日本のその他詳細設計に関わる説明事項がどのような、
1:05:11	分類で分けてるのかという、
1:05:14	ご質問があったかと思いますが、
1:05:17	まず1の詳細設計の色事項につきましては設置許可から設工認に、すいません、申し送られた事項。
1:05:26	すいません中国電力ヨシツグです。
1:05:29	その1ページ目と2ページ目の説明内容のところですね、
1:05:35	衛藤。
1:05:36	1ページ目と2ページ目で五味のところ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:40	審査の中で論点として整理され項目について説明するというものと2ページ目が、
1:05:45	整理された項目の確認結果について説明するという違いが何かあるのかというご質問でした。以上です。
1:05:53	中部電力のナイトウです失礼いたしました。はい。
1:05:57	そちらの、
1:06:01	まず1ページ目の方は、今までの通り論点となっているところの説明内容を、
1:06:08	ご説明すると。
1:06:12	整理した項目に対して、内容を説明するというもので考えてます。2ページ目のところにつきましては、
1:06:20	その他説明内容とさせていただいております、
1:06:26	実際、これらの、
1:06:28	市の、
1:06:29	1ページの上の方まだ、審査、
1:06:32	知っていただいている状況という認識で2ページの本目の方は審査の中でも話が、
1:06:39	コメント対応も終わっているというものになります2ページ目の方は、審査の中で論点として整理された項目の、
1:06:47	確認結果について、確認していただいた内容を整理して、ご説明するという、
1:06:54	形で記載させていただいております、ちょっと語尾がほぼ変えているというところですか。以上です。
1:07:02	規制庁の服部です何となくわかりました。いや、
1:07:06	何かこれ見ると、その他説明事項は土石流とプラント関係が1括りになっていて、
1:07:14	その前
1:07:16	との差別化を図って、わざわざ測ってるのは何でかなということで、何か聞かれた時になんかどう答えればいいのかになってというのがちょっとわからなかったの、確認をしましたが今の説明でわかりましたので結構です。
1:07:32	規制庁の服部です。それでは内容の方に入っていきますけれども9ページをお願いします。これもほとんど記載の話を確認するだけです。
1:07:43	先ほど16のところの注記の話があったんですけど、
1:07:48	私がちょっと確認したかったのはこの注記の2番目のところですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:52	このこのページというのは、漂流物対策工括弧鋼材の話が載っているというふうに理解していて、
1:08:00	この二つ目の漂流物対策工括弧鉄筋コンクリート製番は、
1:08:06	バネ一支所支店としてモデル化するっていうのは、
1:08:10	これはどういう意味なんですか。
1:08:13	中国電力の伊佐ですはい、えっとですねこちら上の図、図5の断面図の方見ていただきまして、要は
1:08:22	鉄筋コンクリート製盤の上に、
1:08:24	かかるように
1:08:26	ここ、鋼材対策載っております。
1:08:29	それが
1:08:32	違う昔から3年かかる時ですね、がありまして下向きにかかる時はそのコンクリートがあるということでぐっと、
1:08:38	支えるようなものにしておりまして上向きの力かかる時は、
1:08:42	アンカー部のところでは浮き上がるようなものとしております。そこをちょっとばねで表現してるというところでちょっとこういった記載しております。
1:08:51	以上です。
1:08:53	はい。規制庁のハットリですわかりました。ちょっと、
1:08:56	ちょっとわかったようなわかんないのはウエノ固定というのはあくまでも節点を前工程にしているその前固定した設定の下に、ばねのようなものをつけている。
1:09:09	そのバネはコンクリート版。
1:09:13	のバネを、コンクリートのばねをつけているというそういう意味だということでもよろしいですか。はい。中国電力の磯です。固定しているのはアンカーボルトのところだけ、そこだけは要は今後止めてますんで、そこは前工程、
1:09:26	それ以外のところただ乗っかってるだけですので、その下のキーワードに近いのはちょっと、その強度が変わる、変えるというところで、ボルト以外のところを、
1:09:35	かつあと開口部のところも、もちろん何もないのでそこは入れてませんけども、
1:09:40	上にコンピューター乗っかっているところをそういった場面を入れているというところですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:47	規制庁の服部ですそうするとその左上にある、ひし形の版があるんですけど、
1:09:54	このグレーで塗ってるところ周りですね。
1:09:59	ここの接点にばねを全部つけているということで二つ目の
1:10:07	表具対策効果コンクリート番はばね仕様としてモデル化しているのが書いてあるということよろしいですか。はい。はい。中国電力宗です。はい。ご理解の通りでございます。
1:10:23	規制庁のハツトリですはい。わかりました。ちょっと前、その前前のページのコンテ金庫車とコンクリート版とちょっと混同したので、
1:10:33	事実確認だけさしていただきました。
1:10:37	それと 14 ページをお願いします。
1:10:40	これもうどこまで書くかなっていうのもあるんですけど、
1:10:44	この二つ目の矢羽根d、
1:10:47	机上化への影響及び安定性の観点から、保守的な設定であることを確認したって書いてあって、
1:10:55	これー、
1:10:58	まああの実際審査した人間は、この内容は理解してるんですね。
1:11:05	ただこれを、一般的に説明する時 2、
1:11:10	おそらくこれを変えてしまうと、
1:11:15	どういうふうに保守的に、
1:11:18	どういう中、どういう保守的なんだろうってのがちょっとよくわからないんで、
1:11:23	液状化への影響の観点で保守的っていうのは、
1:11:28	どういう観点なのかっていうのは、どういう保守的なのかっての多分ちょっとわからないと思うので、
1:11:33	何かここら辺をもう少し詳しく、どういう保守的なのかっていうの説明ってこう書けそうな感じですかちょっとこれはご相談ですね。
1:11:44	中国電力のセイキです。もう少し詳しく書くということであれば成立とヒアリングで説明させていただきましたように、埋戻度の分布がヒロイですとかそういった修飾語をつけさせていただくのかと思いますが、
1:11:58	このパワーポイントの中で簡潔にということであれば、こちらの矢羽根の方を削除させていただくということも、いかがでしょうか。以上です。
1:12:09	規制庁の八田ですわかりました多分、簡潔に書くのはすごい難しいんだらうなと思ったので確認はしたんですけど、やっぱり簡潔に書くのが難しいということであれば、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:21	これは口頭で説明することになればすばいいかなと思いますので、
1:12:26	あくまでもこういう観点で設定したという事実があって、どういうふうに保守的に買ってかれたらそれはそれで口頭で答えるということで、
1:12:37	理解しました。
1:12:46	中国電力のセイキです。承知いたしました。
1:12:50	規制庁の服部ですわかりました。
1:12:53	それと多分これも一つ、
1:12:58	わかりにくい点かなと思うんですけど。
1:13:01	処理物。
1:13:06	対策工を、
1:13:09	これビーム材でモデル化してると思うんですけども、
1:13:14	この
1:13:15	これビーム材でモデル化してるというのは、
1:13:21	これ、
1:13:21	戸当たりをモデル化してるんですもんね。
1:13:26	扉はあくまでも、
1:13:28	上に何だろ例の上に乗っかってるだけで下が固定されてるわけじゃないので、こういうモデル化にはならないので、
1:13:36	戸当たりの部分をこういうふうモデル化してる。
1:13:39	という古藤なんですよ。
1:13:46	中国電力の織田でございます。江藤。こちらの図にお示していますが、注記の衛藤※2 に書いております。
1:13:56	線形はり要素の上げたにおいて、航跡について付加重量で考慮すると記載しておりますので、あたりについては、新規汎用性でモデル化して、構成自体は付加重量で絶頂げたにし、
1:14:08	設定しているというような設定でございます。以上です。
1:14:11	規制庁の八田ですだから、RC支柱のこの、
1:14:15	何だろ支柱として地上部に出っ張っている部分が、
1:14:18	その基礎にしっかり固定されてるのでこういうモデル化になってるということで、ちょっと改めてちょっと確認をさせていただきました。
1:14:36	規制庁のハットリつ私から事実確認は以上です。
1:14:45	はい、規制庁の谷口です。
1:14:47	今までもいろいろ話が出てるんですけど、
1:14:51	一つは、
1:14:53	やっぱり先ほど9ページ目のところろの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:57	3次元構造解析モデルのところの注記の話です。
1:15:03	ここは、アンカーボルトを配置してるところは固定だと、それぞれ以外はバネしてんだってということだと思うので、
1:15:11	ショールーム田崎公的コンクリート版ってことは書かなくてもいいんじゃないかなと思って。
1:15:18	アンカボルト配置してるところは前固定、曲げも固定なのかな。そういう表現をした上でそれ以外は、ばね視点としてモデル化するかそういう表現で、
1:15:30	もっとすっきりして表現をかけ直した方がいいんじゃないかなと思います。
1:15:37	はい。中国ですはい。ありがとうございます。ちょっとここいろいろ指摘いただきまして少し書き、記載を少し考えたと思う。ちょっと開口部があって、そこは真似して入れてないとか、そういったところもあってちょっと、
1:15:51	コンクリートがあるところはあるっていうのをちょっと書かないと説明がちょっと難しいのかなとちょっと思って。
1:15:56	ちょっとおりま種。
1:16:05	当然接触面、誤差抽選でください。
1:16:09	ちょっと正職員がそういった記載をアビルと、
1:16:12	少し理解しやすくなるのかなと思います。ちょっとはい、ありがとうございます。この辺はまとめていただければと思います。ありがとうございます。それから10ページ目のところ、
1:16:25	それは先ほども話ありましたけれども、押し抜きせん断漂流物の衝突荷重については周期をし抜きせん断っていう形の表現してるところ。
1:16:35	特に上の図面の断面のところには越智仁木仙田って書いてあるんですけど、
1:16:40	この辺は、
1:16:44	補足資料なんかで書きかた補足資料のところの断面では、次月線路のイメージが絵に書いてありますよね。
1:16:52	共有そういう表現にした方がいいんじゃないかなと思います。
1:16:57	当然青汁センターがどういうものかってのは先ほどコメントあったように、わかるようにしていただければと思いますけど、書きっぷりを、そういう表現にしておいたほうがわかりやすいんじゃないかなと思いますけどいかがでしょうか。
1:17:10	はい。中国電力の笹井です。はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:17:13	ありがとうございます。ちょっとそういったスポン程度ですねそれ使って ってところでそちらと整合するように、はいちょっと記載の方がして、 はい。よろしく申し上げます。ございます。以上です。
1:17:29	はい、規制庁チギラです。すいませんでんは続けて確認をしていきたいと 思いますが、ちょっとすいません 1 個ずつやっていこうっていう話でした んですけどちょっと時間もかかりそうなので、すいません
1:17:44	とりあえず、
1:17:46	もう、はい。最後までちょっとこれからはですね、1 人、1 人で最後までや りたいと思いますので、お願いします。
1:17:56	当時、
1:18:02	はい。規制庁仲村です。私が記載のところが多いんですけども、資料頭 からまず 3 ページですね。
1:18:12	一番初めにここで図が入ってきて、図の 1 なんですけど、何も寸法が入 ってないと、こうやっぱりこうスケール感とか、そういうのがわかりづら いっていうか、
1:18:25	イメージ図みたいになってしまうんで、
1:18:28	ちょっとこう、後ろの方の、
1:18:30	6 ページでしたかね、2、同じような図があるのはわかってるんですけど ちょっとこう、大事なところだけでも、寸法を入れた方がいいかなって いうのが 1 点です。
1:18:44	あと、
1:18:45	3 ページの、ちょっとこれ確認なんですけども、文章のところ、上から 二つ目の矢羽根。
1:18:54	で、厚さ 50 センチ程度って書かれてるんですけど、例えば 6 ページとか で見てると、方、
1:19:02	6 ページの表のとこ見ると厚さって全部 0.5 メーターってなってるん ですけどこれ程度ってつけてるのは、
1:19:10	今さっきの説明で、40 センチっていうのがあったからかなと思ったん ですけどやっぱりそういうことで、
1:19:18	書いてるってことですね。はい。中国電力の伊佐です。はい。ご理解の 通り、ちょっとそういった少し今回ご説明させてもらいましたけども、一部 ちょっと 50 センチ未満のところがございますがちょっとこういった記載の 方させていただいております。
1:19:32	ちょっとあと、そうですね 3 ページの図のところ、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:37	ちょっとここは概要というところでちょっとそういった細かい情報は、後段の方にちょっと載せようということを考えてさせてもらいました。ちょっと、はい。少し寸法、
1:19:50	50センチか、ちょっとそういったところだけでも入れるか少し検討させていただけたらと思います。
1:19:56	はい。よろしくお願いします。続けてですね4ページですけども、
1:20:03	この文章の中で、
1:20:05	文章の中では3ページのところですけど、例えば、以下漂流物対策を鉄筋コンクリート製版とか、括弧鋼材とかって、略称規定していったんですけど。
1:20:17	例えば4ページの、
1:20:20	一番下の矢羽根。
1:20:22	の頭のところですけど防波壁通路漂流物対策工の設計についてって、略称がこう反映されてないんですよ。
1:20:32	ちょっとその辺は、全部は私見てないですけど、略称規定するんであれば、
1:20:39	反映させなきゃいけないですし、
1:20:42	しないんだったらもう、略称にしないかどっちかでこう統一して欲しいというところですね。で、それが例えば4ページで今ひとつ言いましたけども、
1:20:54	12ページとか、
1:20:57	後ろの方入ってくると。
1:20:59	12ページのタイトルもこれ、
1:21:02	略称になってないんですよ。
1:21:04	それそうなるんで13ページ事項のタイトルのところも全部そうな、なってるんで、ちょっとその統一ってところをお願いしたいんですけど、いかがですか。
1:21:16	はい。中国電力の伊佐ですはい。ですねちょっと今回につきましては例えば防波扉のものについては、まず1ページ目ですね。
1:21:25	こういうタイトルが出ているというところがございます。そのあとにちょっと3ページ目と定義しているというところがございましてちょっとタイトルの方は少し、
1:21:34	この、この案として記載の方がいいのかなと思っていたり、あとまたちょっと回答の方ですね、こちらがある意味そ正式な回答ということできちんと書いた方がいいのかなとすいません、ちょっと4ページの方は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:46	そういった思いでちょっとここは書かせいただきましてその以降の詳細のところは、略称で、
1:21:53	ずっといつお少ししているというつもりでございます。以上です。
1:22:00	言われてることはわかりましたけど、
1:22:06	何かちょっと、
1:22:08	統一のところは何か、
1:22:10	即、以下何々とするって言ってるんだったら何かちょっと、
1:22:15	うん。ちょっと検討してみて、
1:22:19	ください。はい。はい。はい。どうぞ。
1:22:23	そうですね、少しちょっとそういう、おっしゃる通り、いかんというといいてる電話、
1:22:29	略称が使われてないというふうなすいません違和感をおっしゃる通りあるかと思imasのでちょっと、
1:22:34	その以下をつける場所を考えると、
1:22:37	ちょっと少し違和感ないように、
1:22:39	少し考えさせていただきたいと思imas。以上です。
1:22:43	はい。お願いします。続けてですね、6 ページですけども、
1:22:48	構図がいっぱいある中で、多分図の3 ってこう、
1:22:53	パッと見たとき、わからないと思うんですね、知らない人が見ると、そうしたら、図の2 の中に、逆T擁壁があるじゃないですか。だからそこに丸で困って、
1:23:05	そのことですか。
1:23:07	はい。すいません。
1:23:12	それは結構です。続いて、ちょっとページ飛びますけども、15 ページ。
1:23:28	で、
1:23:30	これの文章のところで、
1:23:34	一番最後十分な支持性能を有する地盤に設置する、していることを確認したってあるんですけど、
1:23:42	これは、
1:23:43	例えばこの表のところで言うと、
1:23:47	というかこの資料の中で、
1:23:50	説明されてることですか。
1:23:57	中国電力織田です。すいませんこちら、表ではですね上部工である衛藤構成比だったりと辺りのみ示しておりまして地盤の調査結果については、お示しておりませんので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:11	こちらの十分なCMを有する地盤に設置していることを確認したというものについては、削除したいと思います。
1:24:18	以上です。
1:24:27	頑張っ、
1:24:46	はい。中国電力ヨシツグでございます。はい。今ちょっとこちらで話をさしていただきまして補足の説明資料上には、
1:24:55	十分な支持性能を持ってる岩盤上にMMR、
1:24:58	立ち上げてといったところもございまして、この文章をそのままちょっと中残させていただいて、口頭で補足説明はできるかなと思っております。以上です。
1:25:09	はい、わかりました。15 ページの内容、すべてがここで網羅しないといけないというわけじゃないんで、補足のほうでっていう話がありましたんで、それについては理解しました。
1:25:21	続いて 17 ページ。
1:25:24	これちょっと絵の描き方の確認も含めてですけど、右下のほうに図があって、罫線ちゅうのがあるんですけど、
1:25:36	ちっちゃい字ですけど、交換のところ、内管外管っていうふうに書かれてるんですけど、
1:25:43	一本の線ずつで書かれてるんですけどこれはうちずらそとずれじゃないに、交換が 2、二つあるってことですよ。
1:25:52	中国電力のセイキです。ご認識の通りで、交換が二つある多重交換であるということ、内川里間と記載させていただきました少し線の太さを工夫するとかもう少しわかりやすいように、
1:26:05	させていただきたいと思っております。以上です。そうですねこれだから、交換が二つあるっていうんだったら、二重線が、今日本しか補選ないですけど、
1:26:15	4 本という形にした方が多分誤解を受けないと思うんで、その点については修正してください。
1:26:22	あと、続いて 19 ページですね。
1:26:30	すいませんその前に 18 ページでこの多重鋼管杭基礎における耐震評価っていうところで、
1:26:38	これちょっと確認したいんですけど 18 ページで、詳細設計申し送り事項のところは、
1:26:46	一番最後結論的に追跡する移設する係船中の詳細設計の結果を説明するって書かれて、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:55	係船中全体のことを、
1:26:59	説明するってなってるんですけども、
1:27:03	この章では多重交換公益施設基礎だけのことしか言われてないんですけどそれはこれでいいんですか。すみませんちょっと私、
1:27:14	詳細設計の申し送りのときがいなかったからわかんないんですけど。
1:27:20	中国電力のセイキです。5条の審査の中でですね荷揚護岸の方につきましては本日今日限界の話をさせていただきましたがすでに
1:27:33	桂川中はその上に座っております給与AAA何メーターに収まりますっていう設計の方針の方を示させていただいております。その時に、構造としてなかったものがこの
1:27:45	荷揚護岸の外側、北側南側に追設する、
1:27:50	そういった構造、多重交換の基礎というところの構造も決まっていなかったんですが、何かしらのしっかりした耐震性のある寄贈で追設するっていうものが説明できていなかったのもので、
1:28:01	詳細設計段階でこちら、多重交換の基礎であるということを含めて説明させていただいたということです。以上です。
1:28:09	はい。規制庁仲村ですけどもそれはだから、当然ヒアリングの時に聞いたりしてるからわかってるんですけど、罫線中が、
1:28:19	の話とかそういうのはもうされてたじゃないですかそれはもう終わってるっていうことで、今回多重交換後エキス行為基礎だけを説明してるっていうことだということですよ。
1:28:32	中国電力のセイキです。はい。その認識でございますが、係船中の、今回ヒアリング説明させていただいた構造、曲げやせん断でも形成中自体、
1:28:45	思ってますような評価も、設置許可では示してはいなかったんですが、それは申し送り事項と、そこは、構造が申し送り事項になったというような認識ではなくそちらは、淡々とといいますか
1:28:58	経産省の方説明させて、工認段階で説明させていただければ良いというものであったと認識しております。構造が不明だったものがこの寄贈というふうに認識してこちらの方を
1:29:10	パワーポイントの方で論点といいますか補足事項で記載させていただいたという認識です。
1:29:17	はい。わかりました。
1:29:19	じゃあ、続けてですね、あと二つぐらいですけど、20 ページ。
1:29:26	これは多分、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:28	削除だけでいいかなと思ってるんですけど、20 ページの上から 2 行目で、
1:29:32	表 1 の赤枠に示す防波壁っていうのがあって、これ多重交換群式の方は、
1:29:39	いらないんじゃないかなと思うんですけど、いかがですか。
1:29:44	中国電力の伊澤です。はい。おっしゃる通りでございます大変失礼いたしました。ちょっと削除しが正しいということで、受けさせていただきます。すみません。はい。お願いします。あと最後ですねちょっとこれは確認なんですけど、
1:29:59	22 ページで、
1:30:03	2 断面と 44 断面っていう中詰め材の改良の位置が違うのが書かれてるんですけどそれっていうのは、ウエノ、
1:30:14	平面図でいうと、
1:30:17	2 段面みたいな形になってるのは、
1:30:21	平面図の 2 断面の近くの茶色い範囲ってことですか。
1:30:27	44 断面って L 型になってますけどそこは全部 44 段目の形になってるってことですか。
1:30:38	中国電力の伊佐ですはい。衛藤。
1:30:42	確かですねこちらの新井田面がある北側のライン、これにつきましては
1:30:49	2 段目の格好になってますんで、江藤さん、折れ曲がって衛藤。
1:30:55	南北に走る。
1:30:57	ところにつきましては 4 段目となっていて、そちらの詳細がええと、
1:31:02	補足説明資料にありますねケーソンの形にという。
1:31:09	4 の審査で資料 4-1 の 157 ページ、これもちょっと書いております。はい。
1:31:16	補足する説明資料か何かについてるってことですか。あります。はい、わかりました。すみません。ありがとうございます。私からは以上です。
1:31:34	はい。規制庁の干明です。それではすみません私から、
1:31:38	大きく 4 点ほどちょっと確認させてください 15 ページ。
1:31:48	この
1:31:50	大臣評価とですね共同評価の結果が出ているんですけど、今回 FEM でモデル化していない構造へ行きたいっていうのを、この評価したっていう。
1:32:01	どういう方法でしたのかっていうのは、これは補足とかに説明が、
1:32:06	ありますか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:11	中国電力の浦です。まずこちらの評価方法ですが、今日 2 の下に注記、
1:32:18	米、
1:32:19	2 がございまして、こちらに構成額のセツチュウカにおける、全地震Ssの最大を解かず度から設計震度を設定して評価しているとは、追記しております。
1:32:30	併せてですね補足説明資料の方でも、耐震計算、耐震計算の補足説明資料においても、この深度の設定方法については記載しております。以上です。
1:32:42	進藤はわかったんですけど、そこから、
1:32:46	具体的に小冊子が出てくるってところまでっていうのは、そこは特に記載してないということですか。
1:32:58	中国電力のセイキです。設計の震度が出てきましてそれを用いて、慣性力ということで、梁であれば
1:33:08	単純張りのに頭分布荷重で、地震の慣性力をかけるといったようなことをしておりますけれども、評価方法のところ記載させていただいております。以上です。
1:33:23	はい。今の内容は、もう補足に書いてあるってことでよろしいですか。
1:33:29	中国電力のセイキです。はい。今、口で説明させていただいた内容は、個別補足説明資料の方に記載しております。
1:33:38	収録を受けただけではなくそれぞれの部材について評価方法の方を記載させていただいているところなんです。以上です。はい、わかりましたすみません、中国電力吉富
1:33:49	ちょっと今日の資料には入ってなくて前回のヒアリングの資料のところその辺が書いてありますのでちょっとすみません今回の資料には入っておりません。以上でございます。はい。はい、わかりました資料確認ときます。
1:34:01	すみません続いて、
1:34:04	29 ページ。
1:34:16	で、ここで確認したかったのか、16、解析モデルがあって 2 次元のモデルも 3 次元のモデルもそうなんですけど、
1:34:27	この重力擁壁の右っ側に二次元であれば地中に二つ要素があるんですけど、
1:34:35	これ、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:36	要素って、何かな、何を示してるのかっていうことと、あと、この要素の、
1:34:45	外が陸側からドアとかけているんですけど、その理由って何ですかって いう二つちょっと確認したいんですけどお願いします。
1:35:08	はい。中国電力のソウダですはい。こっち。衛藤。
1:35:12	今言われたのはですね。
1:35:16	図 3 の方で、擁壁、車に当て終わってそのあとも尿素はあって、
1:35:23	これはすみませんけどケーソン。
1:35:25	計算では、上部工か上部工になっております。
1:35:29	ちょっと補足説明資料で言いますと、
1:35:34	5 番、155 分。
1:35:38	すいません。4-1 の方で 150 ページでいただきまして、
1:35:49	上部工になっております。
1:35:53	はい。てください。どうぞ。
1:35:56	が一つ。
1:35:58	はい。これ、④断面のことです。はい、わかりました。あれ、②のところは こういう出っ張りがないってということですねすいません。はい。わかりまし た。
1:36:08	それとすいませんちよっともう一つのご質問をすいません、もう一度伺っ てよろしいでしょうか。これ、この脱
1:36:15	ドーナツの×1 とか 2 列の要素があってそこの外側になってるんですけ ど、これくらいであればわかりました理解できましたのでここにかけると いうことで。はい、承知しました。
1:36:28	すいませんあと二つほど 32 ページで、
1:36:33	これ一はだって話じゃないんですけど図の 8 の断面力コンター図がある んですけど、
1:36:41	ちょっと断面力の方向、多分この陸と海のこの、この方向の曲げを見て るんだと思うんですけど、ちょっとそれが、
1:36:51	わかるようになりますか。
1:37:00	はい、中国電力のソウダです。こちら、この曲げモーメントに、この要素 の座標系なんかを変えたりしてこっち方向のマーケ方向という、
1:37:10	各
1:37:12	のかなと今思いましたそうですねパワポに書きづらかったら補足でもい いんですけど補足に入れといてもらいたいなと思ったんですけど、これ、 多分来ん。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:37:24	次の曲げなんを見てるんだらうなとは思ったんですけどはい。その理解が正しいかどうかなんですけど。はい。はい中国電力のソウダですご認識の通りで、間違いありません。
1:37:35	補足説明資料の方には、シェル要素の
1:37:40	方力の向きというのが、4、
1:37:43	資料ナンバー4-1の、
1:37:45	375 ページ。
1:37:50	2、記載しておりますのでこれに沿ってコンターの方に、床、向きについても記載しようとさせていただこうと思います。以上です。はい、わかりました。
1:38:04	最後なんですけど、
1:38:07	49 ページの、
1:38:11	基礎スラブの話。
1:38:18	この
1:38:21	49 ページの表キーの、当モデル化方法の変更点ということで書かれているんですけど、
1:38:30	同じ表が、補足説明資料にあるんですけど、補足説明資料には、注記が振ってあって、
1:38:36	壁及び床面ば弾性部材としてモデル化っていうのが書かれてるんですけど、今回この介護資料を本資料に、そこが記載されていない理由って何かあるんですか。
1:39:00	中国電力の落合です。そこについては特にモデルカーの変更には該当するような内容ではないので、ちょっとパワポの資料からはちょっと記載は、落としておりました。以上です。
1:39:12	はい。
1:39:13	わかりました。
1:39:14	もう一つなんですけど、今回の方法っていうのは先行、
1:39:19	事例もあるということなんですけど、
1:39:24	先ほど言った弾性部材としてそこの積層シールとかですね、をモデル化する方法っていうのが、
1:39:31	先行サイトの審査実績と同様なのかどうかっていうのは、どのように認識されているかっていうのを確認させてください。
1:40:04	中国電力の落合です。江藤壁の弾性で部材、弾性部材としてモデル化してるのは先行でも実績があるもので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:13	あると認識してます。それから、その部材自体の塑性化による影響ですとか、逆にシェル壁に発生する応力による壁の
1:40:23	健全性ですねそちらについても、別途確認しておりますので、いずれしても、
1:40:30	どちらも実績、先行実績のある評価手法で、健全性を確認しているというふうに考えてます。以上です。
1:40:38	はい。で、セキ促進、積層シェルなんですけど、これはあれですかねそしたら弾性部材と、今回、してモデル化してるんですけど、それぞれコンクリート、
1:40:51	であったり鉄筋っていうところの、
1:40:54	材料特性っていうのをに入れてやっていると、ということですか。
1:41:05	中国電力の落合です。これ、積層整理要素にしてるのはこれ、今回AB AQUUSの弾塑性解析でやっておりますけども、V&Vの方の中で、積層シェル要素での適用性を説明されているので、
1:41:19	あえて弾性ではあるんですけども積層シェルでモデル化するとそういう使い方になります。以上です。
1:41:28	ちょっとその辺がわかりづらかったんですけど、分、逆に普通にせるシェル要素でもよかったっていうこと。
1:41:36	ですよね。
1:41:42	中国電力の打田のおっしゃる通り、シェル要素でも別に問題はないんですけども、V&Vの方で、積層シェルの方でしかその適合性ってのが
1:41:52	書かれてないので、あえて積層シェル要素でモデル化上そうしたっていう扱いだけの話だと思ってます。以上です。
1:42:02	はい。
1:42:03	それはこの介護治療、本治療はいいんですけどまとめ資料の方は、ちょっとその辺、
1:42:10	ちょっと今のお話って書けますかね。
1:42:14	ちょっと、何でこうしたのかっていうのが、やっぱり聞かないとわからないのでちょっと書いていただいた方がいいかなと思うんですけど。
1:42:24	中国電力の落合です承知いたしました。少し、少しだけしか書いてなかったような気がしますので少しこの記載を拡充して先ほど口頭で説明したことをですねわかるように記載したいと思います。以上です。はい。
1:42:36	私から以上です。
1:42:44	はい。規制庁の三浦です。建屋家基礎の部分ですね、少し
1:42:52	直して直していただきたいなと思って、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:54	35 ページ。
1:42:58	35 ページで概要で、地震応答解析だと、0.4 を超えないことを確認して ますよ。
1:43:07	でも一方応力解析は浮き上がりを考慮してやっていますよ。
1:43:12	ここの間、なぜこうしなきゃいけないかっていうのを説明して欲しいんで すよ。
1:43:18	例えば、
1:43:21	基礎スラブの応力解析っていうのは積層シェルを用いて非線形解析と してるから、応力の足し合わせができないんで、組み合わせ係数法に 基づいて水平と、
1:43:31	鉛直方向地震を同時に、
1:43:34	裁可してるから、地震応答解析では生じていない基礎浮き上がりが発 生するんで、その影響を考慮した応力解析を行うんだ。
1:43:44	みたいな話。
1:43:46	要するに 1 番目の矢羽根と 2 番目の矢羽根。
1:43:49	ここの間のつながりをですね。
1:43:52	なぜそういう検討せざるをえなかったのか。
1:43:55	いうことを、
1:43:56	記載をしてください。
1:43:58	それと、
1:43:59	できれば、
1:44:00	ちょっとポンチ絵的なものがあるって、
1:44:05	基礎のモデルであってそこに水平と鉛直が同時にかかるから、地震応 答解析と異なって、
1:44:13	その
1:44:15	場に浮き上がりが生じてしまうんだみたいな。
1:44:19	ちょっとその部分の所、記載をちょっと充実して欲しいんですがいかが ですか。
1:44:29	中国電力の中村です。ご指摘承知いたしました少し、記載検討して
1:44:34	必要であれば図とともにご説明いたします。以上ですそうですね
1:44:38	地震応答解析では受け考慮しなかって、シニアカー付着、浮き上がりは 出なかったと。
1:44:44	なぜ今回、応力解析ではこういう検討しなきゃいけないかっていう部分 が、きちっと説明をしてください。
1:44:51	よろしくお願ひします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:53	続いていきます。
1:44:56	38 ページ。
1:45:00	上から三つ境界条件の部分なんですけど、
1:45:04	これ大した話じゃないです。側面地盤ばねで水平及び回転書いてあるんで、これのバック系の中で後で説明があるんで、この参考し、参考 1 から、
1:45:15	何かをこうひもづけしておいてもらえますか。
1:45:25	中国電力の落合です。承知いたしました。今、現状はですね図の 6 のところの側面地盤ばねのところの注書きのところですね参考 1 ちょっと紐付けて書いてありますね。でもこっちの文章にブレッド行くじゃないね。
1:45:42	中国電力の落合の承知いたしました上の方の三つ目のポツの中でもですね参考 1 がひもづくようにちょっと修正したいと思います。以上です。はい、次は根井さん 19 ページこれの記載なんだけど、
1:45:53	材料コンサルCCV規格って、これ正式名称を入れてカッコCCV規格、
1:46:00	してしてくれます。あと、下のホームのRCMも同じ正式名称を入れて、
1:46:07	括弧あるCN基準とかってして欲しいんですが、
1:46:12	そうしていただけます。
1:46:15	はい。中国電力の仲間です。承知しました。
1:46:17	以上です。
1:46:20	はい。お願いします。
1:46:23	あとは、
1:46:30	えっと、
1:46:32	木曾原子炉建屋の基礎スラブなんですけど、
1:46:35	昨日もお話して、今日もちょっとご説明あったので、
1:46:40	今回、基礎スラブの
1:46:44	シェルで壁をモデル化することによって基礎サブの応力を抑えてるってことですよね。拘束を強くして、
1:46:51	その拘束に対して、壁がちゃんとチェックしても大丈夫だっていうんでそういう資料を今度付けていただくんですが、一つのそれがポイントなので、そのことを念頭に置いて資料作りをしておいていただけますか。
1:47:15	中国電力の落合です。承知いたしました。ちょっとそう。当然本編の方にですね今評価結果のところの前あたりに、その間の結果をつけようかと思えますし、概要のところにもですねちょっと少しそういったことにも、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:29	触れたような記載をするそうですね。一つそれがポイントだということにはわかると思います。はい概要のところにもねきちっと書いといてもらいたいんですよ。
1:47:38	そういう酵素食うをちゃんとチェックして酵素食うするための力もちゃんと処理できていることを確認するんだみたいなこともですね、今打田さんが言われたような感じで、
1:47:49	それを一つの目的の一つということで記載をしてください。
1:47:56	中国電力のオチアイで承知いたしました。修正いたします。はい藤。53ページの土石流なんですけど、これ、
1:48:06	ちょっとこれだけ見ると、
1:48:09	何で何が何だかわかんないんで、管理事務所のこれ平面図と断面図ぐらい入れませんか。
1:48:16	何階建てで、どんな家形状なのかとかっていうのもわからないし、何か、大泉だけで、
1:48:24	平面図断面図ぐらいを入れたいらいいと思うんですがいかがですか。
1:48:29	はい。中国電力の仲村です。承知いたしました4号館の概要がわかるように図面とともに、ご説明いたします。そうですね。入れておかないと、何となくこう何が書いてあるのかよくわからないなという感じです。はい。私から以上です。
1:48:48	規制庁の服部です。私から何点か確認をさせてください。
1:48:52	24ページをお願いします。
1:48:56	この24ページ二つ目の矢羽根。
1:49:00	とケーソン区画4.5メートルを包絡できる。
1:49:05	5メートル図示っていう、この記載って、
1:49:09	まとめ資料に、
1:49:11	ありますか、ちょっと
1:49:13	探したんですけど見つからなかったんですが、
1:49:21	すいません、中国電力伊佐です所長持田。
1:49:33	中国電力ですはい。すいません。前回のヒアリングでですねきちんと中身が改良できているところをわかるようにちょっと記載を充実させる、いただきまして、
1:49:44	すいませんちょっとこちらは3に反映しておきながらその補足説明資料はちょっと寸法がちょっと欠けていなかったのでもっと補足説明書の方にも、この寸法の方を少し記載させていただけたらと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:56	規制庁のハツリですはいわかりました前回のヒアリングで、壁の下以外のところで斜めに打って、きちっとその斜めの施工方法で全部改良されるということ
1:50:08	確認試験をしたっていう説明は聞いてるんですけど。
1:50:11	1区画が4.3メートルでそれを上回る5メートルで改良したって話はちょっと聞いてなかったんで、入ってるのかなっていうことだったので、入ってなければ入れといてください。
1:50:26	はい、中部でSIをいたしました。
1:50:29	規制庁の服部です。29ページお願いします。
1:50:32	すいませんこれはもう本当に何回も今回で3回目か4回目行くんですけど、
1:50:37	どうしても心が納得できなくて、
1:50:41	地震時荷重、
1:50:43	を作用させるって書いてるんですけど、この地震時荷重の中には、
1:50:48	常時の動圧水圧、要するにどす一体だと思んですけど、これも入ってるんですよ。
1:50:57	はい。中国電力のソウダです。はい。こちらには常時荷重も入っております。で、すいません。解析の流れとしますと、3次元構造解析においても、常時解析をして、地震時荷重、
1:51:12	そのゾーンを採用しているということになります。以上です。
1:51:18	市長の服部です。今の話は少しわからなかったんですけど。
1:51:21	3次元構造モデル解析で常時解析をしてるっていうのは、
1:51:27	よくわからなくて、私の認識ではこの右側のフローの二次元有効、有限要素解析。
1:51:34	有限要素法カッコ地震応答解析の中で、
1:51:38	常時荷重、
1:51:40	常時解析をやって外荷重を引き継いで地震事業、
1:51:44	解析をやってそのトータルで出てきた荷重を左側の地震時荷重という名のもとに、3次元コード解析に入れてると思うので、
1:51:56	3次元構造解析で常時解析をやってるということではないのかなと思うんですがいかがですか。
1:52:32	すいません中国電力、はい、中国電力のソウダです。衛藤。
1:52:37	ええし、資料4-1の369ページをお願いいたします。
1:52:50	こちらの図の5ポツ1ポツ4-2の3次元構造解析フローの中に、3次元構造解析でまず常時応力での解析をして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:01	2次元、
1:53:03	平均を双方から、
1:53:06	詳細時刻を選定してその時刻での地震時荷重を、再開していることを記載しております。以上です。
1:53:14	ごめんなさいもう1回ちょっと念のために確認しますが、
1:53:18	3次元構造解析の常時解析をやって、
1:53:22	それです。それで地震時荷重をそこに入力するときにその地震荷重の中に、水平方向の、
1:53:31	動圧と水圧は度数一体でしょ、評価したその
1:53:36	地震時解析の中から出てきた荷重を、が含まれているということですか。
1:53:42	ちょっとすみません、わかんなくなりました。
1:53:59	はい。はい。中国電力、杉でございます。ちょっとわかりにくくて申しわけない3次元構造解析の常時応力っていうのはあくまでも躯体の自重で、軸力がかかると。
1:54:10	そういったものをまずやって、
1:54:13	あとで、そこには動圧とかかかっておりませんので、常時動圧とか常時の水圧というのはかかってないものが、3次元の構造解析の上乗力といったところでございます。
1:54:24	で、地震時応力というのは、地震時増分も含めた、江藤、清志田と同者も含めてこのところの荷重を、二次元から持ってきて、与えていると。
1:54:35	与え方は先ほど書いてこの※で書いてある通りのもので与えておるといふものでございます。以上です。
1:54:43	規制庁のハツリですはいわかりましたこの常時解析ってのは自重解析ってことですね、要するにね。わかりました。もう1回、
1:54:53	パワーポイントに戻っていただきまして、
1:55:13	規制庁の服部です。35ページをお願いします。
1:55:19	先ほど三浦の方から、一つ目の矢羽根と二つ目の矢羽根の間に、
1:55:24	もう少し詳しい説明を入れてくれっていう話はあったと思うんですが、私が確認したいのは、
1:55:30	この二つ目の矢羽根カラー、この三つ目の矢羽根。
1:55:35	に移るそのときのこの三つ目の矢羽根の記載が少しわかりにくくて、
1:55:43	二つ目の矢バネD。
1:55:46	結局浮き上がりを適切に評価できるような、
1:55:51	解析手法なり解析モデル、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:54	にしますよと言っているのに対して、
1:55:59	三つ目の矢羽根は、そので、
1:56:02	浮き上がりを適切に評価できる。
1:56:05	モデルとか解析手法を使って、
1:56:08	やった結果を示すものである。
1:56:11	というふうに書いた方が、
1:56:14	何となくこの付着力を考慮した。
1:56:17	ホール解析。
1:56:18	だけだと。
1:56:20	この二つ目の山根から三つ目の矢羽根に行く時のプロセスの中で、少しわかりにくいのかなと思ったんですがいかがですか。
1:56:35	中国電力の落合ですご指摘承知しましたそしたら三つ目の例えば矢羽根のところですね、本資料はの後ですけども、制御建物どうのこの。
1:56:47	援助区分に付着力を考慮した人が書いてませんけど例えば付着力及び、基礎浮き上がりを考慮した応力解析によるっていうのはそういう形にすれば多分はつきりするのかなと思いますけど、そういうふうにならと修正したいと思います。以上です。規制庁のハツリそうですね。付着力を踏まえて、
1:57:03	浮き上がりを適切に考慮した応力解析。
1:57:08	で、基礎スラブの応答表。
1:57:11	表、耐震評価をしてその結果を示すものであるみたいなそういう流れにした方が、何か二つ目の矢羽根との繋がりが、要は、浮き上がりを適切に評価するっていうのがキーワードになってるかなと思ってるので、
1:57:23	それが三つ目の矢羽根に入っているとわかりやすいかなと思った記載の話です。以上です。
1:57:33	中国電力の落合ですご指摘承知いたしましたの記載は修正いたします。以上です。規制庁の服部です。私から以上です。
1:57:50	規制庁のタニグチです。
1:57:52	先ほどの話。
1:57:57	ケーソンの
1:57:58	縫製色ケーソンの花強いです。先ほどもお話しが出てましたけれども隔壁のところの話が、
1:58:06	具体的に例えば 30 ページ目のところに、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:58:11	書いてあるんですけども、これは3次元の静的FEMのことなので、神経も線形も両方とも同じイメージで書かれてると思うんですけども、
1:58:25	そのの、
1:58:26	下のところに放水路計装のところにに関して、
1:58:31	仙台せん断のメインな方向に関してのところに、今日限界。
1:58:37	これ3次元の線形構造解析の強限界は2000マイクロって書いてあるんですけど、その上にアスタリスク2で、3次元線形構造解析の狂言が示すって書いてあるんですけど、
1:58:51	これは何を示していますか。
1:58:56	はい、中国電力のソウダです。
1:58:59	こちら31ページの図の6のフロー。
1:59:04	見ていただけますでしょうか。
1:59:06	野呂久郷。
1:59:12	はい。衛藤さん、放水炉計装についてもまずは、3次元
1:59:17	線形構造解析に、を実施をいたします。
1:59:21	その中で照査値が1を下回るもの。
1:59:25	については、
1:59:28	評価終了のフローに流れていきます。
1:59:33	A正田知が1より大きいものは応力度の平均化、それでも所達を1を上回れば、7が民、一番右のひし形に進むんですけども、
1:59:45	ここは米。
1:59:47	で振っておりますがこの隔壁については、3次元の非線形講座解析に進むというフローになっております。ですので
1:59:57	線形解析と非線形解析のそれぞれの協議会をお示しております。以上です。ここで書いてある30ページ目のところに書いてある、
2:00:07	第1折れ点評価式っていう評価がわからない。
2:00:13	ここが、
2:00:14	結局非線形性を評価するにあたって、せん断については台帳0.2評価ではやりましたっていうことを示しているのか。
2:00:24	それがわからないんです。はい。中国電力の伊佐です。
2:00:29	資料4-1の162ページを少し見ていただけたらと、162ページ。
2:00:44	はい。こちらのスケルトンカーブになっておりまして、まず
2:00:49	今回のフローとしましては、線形解析をして、それで操作上超えるようであれば平均かなり線形解析なりということを考えておりますんで、
2:00:59	線源解析をやってるという電話ホソソ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:03	判断できる弾性範囲内だけだと、いうふうに考えておまして、今回リバー ースのセキ解析で確認できる範囲ではこの
2:01:11	162 ページの第 1 折れ点までだと思っております。
2:01:14	ベースそれ以降の話になると、
2:01:17	その今の線形解析のため、難しいですので非線形解析まで至ってそう なったら、
2:01:22	本来の支持機能からくる 2000 マイクロという許容限界で、
2:01:27	確認をするというところをちょっと 2 種類書かせていただいております ね。そうすると、基本的には実現性、これで台帳 0 点までに至らなけれ ば、至るかどうかを、このタウンタワーっていう数字確認をした上で、
2:01:45	これを超えたときには、2000 枚車D、
2:01:48	2000 マイクロで確認をするってイメージですね。
2:01:53	わかりました。その辺が今、
2:01:56	この調査項目と今日限界ってところに、何となくこの今、このせん断破壊 に対しては教育委員会が書いてあるとわかるんだけど、
2:02:07	特に書いてないのでわかりにくいので、逆にページ添その辺、イメージ したものを書けないかなと思ったんですがいかがでしょうか。
2:02:22	わかりました。趣旨としてはそういうことね。わかりました。ちょっと浅井 付のところの表現がちょっとわかりわかりにくかったので、ここの、
2:02:33	注記のところろう、ちょっと考えてみていただければと思います。
2:02:46	はい、すみませんがその辺の書きぶりだけ、ちょっと検討してください。
2:02:51	はい。10 億円ください。※3 のところを少し、
2:02:54	拡充を組織とさせていただきたいと思います。はい。よろしく願いま す。
2:03:00	以上です。
2:03:08	いやいや、違う。
2:03:11	いえ、規制庁大橋です。
2:03:15	確認なんですけど、パワポ資料の 36 ページとか 48 ページに建屋の断 面図があって、
2:03:23	他のサイトでは、例えば 48 ページみたいに、
2:03:27	詳細な一。
2:03:29	各フロアの標高が、
2:03:32	非表示に、非公開になってたりするのもあるんですけど、
2:03:36	これはいいですか
2:03:38	電力の考えが統一されてればいいかなと思いますけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:46	中国電力の落合です当社の方はこれはこのポンチ絵ということで特に特段、PPとかに該当しませんので公開として問題ございません。以上です。
2:03:56	規制庁大橋です。承知しました。
2:03:59	それと、パワポ資料の9ページの、
2:04:04	橋梁物対策工で、以前
2:04:08	この右上2書いてある図面の中の、
2:04:13	赤い補強鋼材の、
2:04:15	せん断調査するときの断面セキについて、
2:04:19	今の状況、どう考えてるかっていうのを確認して、
2:04:24	欲しいという話をお願いしたんですがこれは何か回答はあるでしょうかお願いします。すみません。はい。中国電力です。すみませんちょっと大江さんがおられませんかでしょうちょっと。
2:04:34	説明をさせておりませんでした。今回確認しました大江さんが言われたですね、仮設工指針の方確認させていただきまして確かに
2:04:43	講演いたしのやつが、60%もしか見れない予定そういった記載が確かおっしゃる通りございました。ちょっと増強とかいろいろありましたけども、今回本設というところで、そこは、
2:04:59	書かれてなかったというところで、一応、全体を見ているというところがございます。
2:05:06	はい。中国電力より少しだけ補足をさせていただきますと今回の取替可能な構造の鋼材になっている点検ももちろんさせていただきます。
2:05:15	ということと、評価のところ、今回3次元のモデルです、詳細なモデル化をして評価をしているということで、今回は、
2:05:25	衛藤、ウェブ等、
2:05:26	フランジのところも含めて、モデル化した構造でそれでもつというような評価をさせていただきたいというふうに考えております以上です。
2:05:36	規制庁大橋です。
2:05:38	濃い上に
2:05:41	鉄板みたいなのに、直方向に補強部材がついたときの、
2:05:46	戦力いいんの応力分布っていうのが、
2:05:50	取りついたところがほとんどせん断力発生しないで、途中から膨らんできて応力発生するっていう観点で、
2:05:58	その端部につく。
2:06:00	フランジ部分は、前段が利きにくいだらうなっていう。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:06:05	ことなんですけれども、
2:06:06	結果的にはかなり
2:06:09	緑地余裕があるので、
2:06:12	構造物の本設なんですけど、重要性っていうか、
2:06:18	いうことを考えて現状でもう特に問題はないんだろうなとは思いますが以上です。
2:06:30	いいですか。いい事ちょっとですね。規制庁の小橋なんですけど。
2:06:35	制御盤の基礎スラブの応力評価のところでもず 38 ページ目で、これは細かい話なんですけど、
2:06:43	図の 6 で、
2:06:48	インピーダンスばねをスラブにモデル化するっていう絵でわかるんですけど、
2:06:53	何か価値右側の、
2:06:56	側面地盤ばねのところ、下に底面ばねが黒で残ってるのは、
2:07:02	右に行ってこれ削減までだけ、
2:07:06	ばてだけを右のFEMIに反映させてるっていう意味なんだけど、この黒い下の
2:07:13	下の底面ばねが残ってちょっと勘違いされながら好きになったんですけども、
2:07:22	これは、
2:07:24	ちょっとそれが気になったんですけど
2:07:27	特にこの黒いな虫示してるって意味ですよ。
2:07:36	中国電力の仲村です。括弧Bの左側の図だと、理解しましたがそうですねこの説明においては黒いばねについては、
2:07:47	何て言いますか、無視して、左側の赤と青のばねを離散化してる、御説明の図になります以上です。
2:07:55	わかりました。
2:07:57	それはわかりました。あと最後もう一つ、動力評価で 41 と 42 でちょっと確認し、
2:08:05	したいんですけど
2:08:07	これはちょっと説明性できると思うんですけど、
2:08:10	41 ページ目は、水泳方向と鉛直の 2 方向での応力評価ということで、
2:08:17	42 ページ目は、2 方向プラス鉛直で 3 方向に、の評価ってことで、招致と表示の結果なんですけど、
2:08:25	表 2 の方の 3 方向で、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:08:29	方向性を水平の方向性書いてるのは、支配的な方向性を変えたというふう位置付けで、説明すればいいかなと思うんですけどそういう認識でよろしいでしょうか。
2:08:54	いいです。何か、
2:08:56	中国電力の仲村です。
2:08:59	今日、例えば表 2 の左から 2 列目の項目の方向のことだと理解しました。こちらにつきましては例えば一番上のコンクリートの圧縮ひずみですと、
2:09:10	NS方向の圧縮のひずみの衛藤結果として記載していますという意味で方向を記載しています。以上です。
2:09:18	わかりました。ちょっと私の勘違いわかりました。
2:09:33	はい、杉田木田です。他に確認する点があるかと。
2:09:43	すいません規制庁のタダウチですけども、
2:09:47	ちょっと簡単な質問だけさせていただきます一つ 2、24 ページ。
2:09:56	上から二つ目の矢羽根で高圧噴射攪拌工法の改良系はケーソンの各 4.5 メートル包絡できる 5 メートルとし、
2:10:08	とあるんですが、
2:10:11	これは 1 区画が 4.5 × 4.3 だから、5 メートルあるからいいやっという話でいいんですかね。
2:10:22	いや、何を言いたいかという
2:10:25	これ単純に 1 次元方向の長さだけの比較だけでやっちゃうと、例えば区画内の斜めの辺りやると 4.5 と 4.3 の斜めの方向だとこって、
2:10:39	6 メーター 20 センチぐらいになるんですけども、
2:10:43	ここまで及ぶ場合に入るのか入らないのか。
2:10:47	ここの区画内をすべてやるって話でこれで十分なのかどうなのか。いや、逆に言うと例えば面積でね、考えるんです。どうせね、重点区画があってされるのであればっていう面積ちょっと。
2:11:00	手計算でやってみると、ここの四角 19.35 平米。
2:11:05	仮にですよ亡命直径 5 メーターとすると 19.62 点で一応面積を満たすのかなとか、そこら辺のちょっとすみません、本当幾何学的な
2:11:17	ことでねここを矢羽根の二つ目、比較しちゃってるんですけども、考え方としてこうこれ一発やれば十分ですよって、2 回 3 回やってやるんでしょうか。僕知らないんですけども、
2:11:31	そこら辺の広報とかも含めて、何かこの説明が破綻しないで設定できますかって単純それだけの話なんだけどまた一つ、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:11:42	はい。中国電力です。はい。すみません。こちらですね
2:11:46	基本は、
2:11:49	この5メートルもので全部カバーできているところになっております。そちらの方でちょっと今の金旋風DISとさっきの多田さん言われる者の話になるとちょっと、
2:12:00	どうなのっていうちょっと疑問を抱かれる可能性がある記載だとちょっとすみません、認識しましたのでそういった、今言った面積とかも含めてですねちょっと、
2:12:11	ちょっとこちらにその中の補説の方ですね少し記載を確認させていただけたらなど。
2:12:17	思います。
2:12:19	規制庁多田ですそれと後はもう十分にミナミだからそれ以上のものもあるんでとかいうだったら別にそれはそれでそうなんかいろいろ説明の仕方があるのかもしれない。ここは
2:12:31	単純に、2万、二つ目の矢羽根だけやってるとなんか、
2:12:35	そういった話を言われてしまう可能性もあるんでちょっと説明については気をつけていただきたいと思います。それと、ちょっと戻っていいのかな9ページの話。
2:13:11	はい。はい。今おっしゃられた通りでございます。で、あと確認としてさらに四隅っていうのが、おっしゃられる通り入りにくいのでその四隅の品質確認のボーリングもしてちゃんと充填されているというのを、
2:13:22	確認しておりますので、ちょっとそのあたりをまず補足で充実させていただきましてこの文章については誤解がないような記載の仕方をさせていただいております。
2:13:42	はい。はい。
2:13:44	田部さん矢崎さんおっしゃる通り数字だけでいきますと、今おっしゃられたようにちょっと抜けがあるんじゃないかという話になりますので、確実に確認して施工しておりますので、そこをわかるように、はい。
2:13:57	はい。
2:13:58	はい。ありがとうございますちょっと追加してここ
2:14:05	確認させていただきたいと思います。以上です。はい。すみませんタダウチで説明のほう充実させてくださいそれともう一つなんですけど9ページ。
2:14:14	これもちょっと幾何学的な話で聞きたいんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:14:19	後半の裏っ側に補強材これCチャンネルみたいなやつですね、チャンネル材みたいの入れてやるんだけど、
2:14:30	これ実際に施工としようとするね。
2:14:34	これどうなんですか。切った張ったみたいな感じ切断して、溶接してみたいな話になっちゃうのかしらそうするとね、チャンネル材の中までね、切断した横財の縦材がちゃんと入り込むなんてそんな溶接までちゃんしたりするんですねそうしないと。
2:14:52	この図面って成立しないんじゃないかなと思ってて、
2:14:56	点線全部入っちゃってんだけど、
2:14:59	いやそこまでのねことちゃんと全部すごい、合わせ施工してね、何かチャンネルで野中までクリクリって溶接してやるっていうならこれでもいいのかもしないけど普通そんなことするのかなって多分やらないんじゃないかなって気もするんだ。いやいや、
2:15:14	そこまでガチガチにやるんですっていう話で言えば、
2:15:17	それはそれでそうなんですって言ってもらえばいい、いいと思うんですけど、仮にいやそこまでやらないんですってなった場合には、下のモデル図って、本来、赤い線がどっかで、
2:15:29	途切れるんですよ。
2:15:31	切断されてる状況になると、辰田は言ってないところもあるから、
2:15:37	どうなっちゃうのかしらって。
2:15:40	こころ辺の考え方実際のね、物をつくったん。
2:15:44	ことを想像してこの図面書かれてるのか、それが最終仕上がり状態がちゃんとね、モデル化されてるのかっていうところは、
2:15:54	いかなもんでしょう、こころ辺検討されてるんでしょうか。
2:15:59	中国電力機です。はい。
2:16:03	ヒアリングやりますんで、
2:16:11	はい。
2:16:40	やります。
2:16:46	中国電力シミズです基本的にはこの構造です施工施工も含めて整理するということで今考えておりますけども、ちょっと持ち帰ってもできないということがどうしてもあるようであればですね、ちょっと考えますけど、
2:17:00	解析の話にもおっしゃっていただいたようにですねありますので、先ほど磯田が言いましたようにやりますと言いましたけど、やる方向ですね基本的には考えたいと思っております以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:17:14	坂野。はい。
2:17:21	全くそこがですね一体の合同になるかというところまで確かに難しいかなというところありますけどこの絵のような施工をしたいというふうに考えております以上、
2:17:46	そこは実際どうなるかっていうところもちよつと十分反映していただいてここら辺表現していただければと思います。以上です。
2:18:04	はい、規制庁チギラです。他に確認する点がある方。
2:18:08	①の資料に関係してありますか。
2:18:14	よろしいですかね。はい。
2:18:16	中国電力側から何か追加で説明する内容等ありますか。
2:18:24	はい。中国電力吉住でございます。こちらではないですが本社側、一応確認ですが、ないと思っておりますがどうでしょうか。
2:18:35	中国電力の落合です本社側の方からは特にございません。以上です。 はい、わかりました。それでは本日のヒアリングの方を終了いたします。 ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。